

# 札幌医科大学医学部 アセスメント・マップ

令和7年3月27日 医学部教授会了承



カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を修了し、スケジュールドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

医療倫理学	2	カリキュラム・マップ
		アセスメント・マップ
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)
評価形式		
1 定期試験：筆記試験（記述式）	90	a a a b c a
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）		
3 小テスト：筆記試験（記述式）		
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）		
5 口頭試験		
6 レポート		
7 成果発表		
8 質問紙法		
9 直接観察法（横型または実際の患者）		
10 OSCE		
11 監査（オーディット）		
12 ポートフォリオ		
13 自己評価		
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	10	c c b a
合計（100%）	100	
目標とする平均点		75点
再試験の回数		1回
授業形態		対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー																																																																																			
I. プロフェッショナリズム					II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献																																																
1	医療倫理及び生命倫理の原則を説明し、具体的な状況に適用できる。	2	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	3	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した上で適切に行動できる。	4	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6	人権の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の診断に活用できる。	4	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	5	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に即して正しく実践できる。	5	医療安全、感染症対策を実践できる。	6	災害時の医療について説明できる。	1	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3	最新の情報を探求し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4	指導力及び協働性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4	医学的知見を獲得するための合理的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3	医療・保健に関わる国際協力への役割を説明できる。	4	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	5	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
c	c	c	c	c	d	c	e	e	e	e	e	e	e	e	e	e	e	e	d	e	d	d	d	e	e	e	e	d	d	c	e	e	e	e	c																																																

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スケジュールドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

法学	1	カリキュラム・マップ
----	---	------------

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識		III. 医療の実践		IV. 問題対応能力		V. コミュニケーション		VI. 科学的探求		VII. 地域医療		VIII. 国際貢献	
1	医療倫理及び生命倫理の原則を説明し、具体的な状況に適用できる。	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	1	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	1	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	1	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	1	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	1	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解するための重要性を説明できる。	1	国際社会における医学的課題を説明できる。
2	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	2	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	2	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	2	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	2	科学的知見を導くための科学的な理論や方法を研究倫理について説明できる。	2	社会経済における地域医療の位置づけについて説明できる。	2	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	2	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。
3	生及び死に関する倫理的な問題を多角的に認識した上で判断し、行動できる。	3	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の診断に活用できる。	3	医療の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	3	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	3	指導力及び協働性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	3	5個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	3	医療・保健に関わる国際協力への役割を説明できる。	3	疫学・保健に関わる国際協力への役割を説明できる。
4	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	4	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	4	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に即して正しく実践できる。	4	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	4	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	4	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	4	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	4	疫学・保健に関わる国際協力への役割を説明できる。
5	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	5	医療安全、感染症対策を実践できる。	5	医療安全、感染症対策を実践できる。	5	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	5	指導力及び協働性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	5	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	5	疫学・保健に関わる国際協力への役割を説明できる。
6	入退の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けていく。	6	医療安全、感染症対策を実践できる。	6	災害時の医療について説明できる。	6	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	6	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	6	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	6	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	6	疫学・保健に関わる国際協力への役割を説明できる。

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計(100%)
1 定期試験：筆記試験（記述式）	20		b												
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	80	a		c	b	a	b								
3 小テスト：筆記試験（記述式）															
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）															
5 口頭試験															
6 レポート															
7 成果発表															
8 質問紙法															
9 直接観察法（横型または実際の患者）															
10 OSCE															
11 監査（オーディット）															
12 ポートフォリオ															
13 自己評価															
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載															
合計(100%)	100														

目標とする平均点	75点
再試験の回数	2回
授業形態	対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を修了し、スケジュールドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

医学	1	カリキュラム・マップ
----	---	------------

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献																																																					
1	医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	1	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	1	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	1	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	1	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	1	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	1	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	1	国際社会における医学的課題を説明できる。	2	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	2	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	2	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	2	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	2	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	2	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	2	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	2	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	2	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	3	生及び死に関する倫理的な問題を多角的に認識した論議が可能である。	3	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の診断に活用できる。	3	臨床情報整理して臨床推論を行い、診断することが可能である。	3	複雑な問題を科学的根拠に基づいて実行できる。	3	指導力及び協働性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	3	科学的知見を獲得するための科学的な理論や方法を研究倫理について説明できる。	3	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	3	医療・保健に関わる国際協力への役割を説明できる。	3	国際社会における医学的課題を説明できる。	4	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	4	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	4	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に即して正しく実践できる。	4	医療安全、感染症対策を実践できる。	4	医療チームのリーダーとして多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	4	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	4	国際社会における医学的課題を説明できる。	5	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	5	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	5	災害時の医療について説明できる。	5	1人及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	5	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	5	5個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	5	地域医療における国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	5	国際社会における医学的課題を説明できる。

②評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計(100%)
1 定期試験：筆記試験（記述式）															
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）															
3 小テスト：筆記試験（記述式）															
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）															
5 口頭試験															
6 レポート	90	a		a	b		a								
7 成果発表															
8 質問紙法															
9 直接観察法（横型または実際の患者）															
10 OSCE															
11 監査（オーディット）															
12 ポートフォリオ															
13 自己評価															
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	10														
合計(100%)	100														

目標とする平均点	75点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を修了し、シミュレーション・シナリオとして模範的に聞き、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

文学	1	カリキュラム・マップ
----	---	------------

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンション

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識		III. 医療の実践		IV. 問題対応能力		V. コミュニケーション		VI. 科学的探究		VII. 地域医療		VIII. 国際貢献			
1	医療倫理及び生命倫理の原則を説明し、具体的な状況に適用できる。	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	1	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	1	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	1	乳癌及び乳部を重点し、相応しい身振り手振りを示すことができる。	1	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	1	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	1	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解するための重要性を説明できる。		
2	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	2	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	2	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	2	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	2	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	2	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	2	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。		
3	生及び死に関する倫理的な問題を多角的に認識した上で行動できる。	3	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	3	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	3	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	3	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	3	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	3	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	3	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。
4	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	4	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	4	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	4	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	4	指導力及び協働性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	4	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	4	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	4	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解するための重要性を説明できる。	4	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。
5	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	5	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	5	災害時の医療について説明できる。	5	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	5	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	5	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	5	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	5	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	5	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解するための重要性を説明できる。
6	人権の尊重及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けていく。																

②評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計(100%)
1 定期試験：筆記試験（記述式）															
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）															
3 小テスト：筆記試験（記述式）	40													c	
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）															
5 口頭試験															
6 レポート															
7 成果発表															
8 質問紙法															
9 直接観察法（模写または実際の患者）															
10 OSCE															
11 監査（オーディット）															
12 ポートフォリオ															
13 自己評価															
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載				60 (授業態度)											c
合計(100%)	100														

目標とする平均点	75点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を修了し、ステューデントクワーターとして積極的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

言語と人間	1	カリキュラム・マップ
-------	---	------------

**アセスメント・マップ**

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計(100%)	目標とする平均点	再試験の回数	授業形態	
1 定期試験：筆記試験（記述式）																			
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																			
3 小テスト：筆記試験（記述式）	60																		
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																			
5 口頭試験																			
6 レポート																			
7 成果発表	30																		
8 質問紙法																			
9 直接観察法（模写または実際の患者）																			
10 OSCE																			
11 監査（オーディット）																			
12 ポートフォリオ																			
13 自己評価																			
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	10																		
合計(100%)	100																		
目標とする平均点		75点																	
再試験の回数		1回																	
授業形態		対面授業科目																	

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンション																																																																																			
I. プロフェッショナリズム					II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献																																																
1	医療倫理及び生命倫理の原則を説明し、具体的な状況に適用できる。	2	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	3	生及び死に関する倫理的な問題を多角的に認識した上で行動できる。	4	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚して行動できる。	5	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6	人倫の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けていく。	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	4	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	5	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することが出来る。	4	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5	医療安全、感染症対策を実践できる。	6	災害時の医療について説明できる。	1	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身振りと振る舞いができる。	2	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることが出来る。	3	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4	指導力及び協働性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解するための重要性を説明できる。	2	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3	医療・保健に関わる国際協力への役割を説明できる。	4	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	5	国際社会における医学的な課題を説明できる。



カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スケジュールドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

人類学	1	カリキュラム・マップ
		アセスメント・マップ
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)
評価形式		
1 定期試験：筆記試験（記述式）		
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）		
3 小テスト：筆記試験（記述式）		
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）		
5 口頭試験		
6 レポート	100	a
7 成果発表		
8 質問紙法		
9 直接観察法（横型または実際の患者）		
10 OSCE		
11 監査（オーディット）		
12 ポートフォリオ		
13 自己評価		
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載		
合計（100%）	100	
目標とする平均点		80点
再試験の回数		0回
授業形態		対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー																																										
I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識						III. 医療の実践						IV. 問題対応能力				V. コミュニケーション				VI. 科学的探求		VII. 地域医療			VIII. 国際貢献											
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
E	E	E	E	E	E	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E				
アセスメント・マップ																																										
① 評価形式ごとの評価割合 (%)																																										
② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)																																										
評価形式																																										
1 定期試験：筆記試験（記述式）																																										
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																										
3 小テスト：筆記試験（記述式）																																										
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																										
5 口頭試験																																										
6 レポート	100					a																																				
7 成果発表																																										
8 質問紙法																																										
9 直接観察法（横型または実際の患者）																																										
10 OSCE																																										
11 監査（オーディット）																																										
12 ポートフォリオ																																										
13 自己評価																																										
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																										
合計（100%）	100																																									
目標とする平均点						80点																																				
再試験の回数						0回																																				
授業形態						対面授業科目																																				







札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スケジュールドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

基礎生化学	2	カリキュラム・マップ
-------	---	------------

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

評価形式	割合 (%)
1 定期試験：筆記試験（記述式）	70
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	30
3 小テスト：筆記試験（記述式）	
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）	
5 口頭試験	
6 レポート	
7 成果発表	
8 質問紙法	
9 直接観察法（横型または実際の患者）	
10 OSCE	
11 監査（オーディット）	
12 ポートフォリオ	
13 自己評価	
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	
合計（100%）	100

② 評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
1 定期試験：筆記試験（記述式）														
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）														
3 小テスト：筆記試験（記述式）														
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）														
5 口頭試験														
6 レポート														
7 成果発表														
8 質問紙法														
9 直接観察法（横型または実際の患者）														
10 OSCE														
11 監査（オーディット）														
12 ポートフォリオ														
13 自己評価														
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載														
合計（100%）	100													

目標とする平均点

75点

再試験の回数

1回

授業形態

対面授業科目

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識		III. 医療の実践		IV. 問題対応能力		V. コミュニケーション		VI. 科学的探求		VII. 地域医療		VIII. 国際貢献																											
1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	2 法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に隣る倫理的な問題を多角的に認識した指を辨いことができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人倫の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の説明に活用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	5 医学の進歩と高度のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探求し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協同性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 フライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身に付けている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を修了し、シミュレーション・ワークとして模範的に聞き、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

I. プロフェッショナリズム	II. 医学知識	III. 医療の実践	IV. 問題対応能力	V. コミュニケーション	VI. 科学的探求	VII. 地域医療	VIII. 国際貢献	札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンション																											
								1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12																
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5								
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5								
D	E	E	E	E	E	C	C	C	C	C	C	E	E	E	E	E	C	D	D	D	D	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
カリキュラム・マップ														アセスメント・マップ																					
① 評価形式ごとの評価割合 (%)														② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)																					
評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計(100%)	目標とする平均点	再試験の回数	授業形態																	
	定期試験：筆記試験（記述式）	定期試験：筆記試験（多肢選択式）	小テスト：筆記試験（記述式）	小テスト：筆記試験（多肢選択式）	口頭試験	レポート	成果発表	質問紙法	直接観察法（模写または実際の患者）	OSCE	監査（オーディット）	ポートフォリオ	自己評価	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	100	75点	1回または2回	対面授業科目																	

目標とする平均点

75点

再試験の回数

1回または2回

授業形態

対面授業科目

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スケジュールドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法	
放射線物理学	1	カリキュラム・マップ	
		アセスメント・マップ	
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)	
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)	
		評価形式	100
		1 定期試験：筆記試験（記述式）	a
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	a
		3 小テスト：筆記試験（記述式）	
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）	
		5 口頭試験	
		6 レポート	
		7 成果発表	
		8 質問紙法	
		9 直接観察法（横型または実際の患者）	
10 OSCE			
11 監査（オーディット）			
12 ポートフォリオ			
13 自己評価			
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載			
合計（100%）	100		
目標とする平均点	80点		
再試験の回数	1回		
授業形態	対面授業科目		

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー																																											
I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力				V. コミュニケーション			VI. 科学的探求		VII. 地域医療		VIII. 国際貢献																
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5						
医療倫理及び生命倫理の原則を説明し、具体的な状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した上で適切に行動できる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人倫の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けていく。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に即して正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探求し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協働性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学的研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的知見を獲得するための科学的な理論や方法を、研究倫理について説明できる。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	地域医療の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	フレイマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力への役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スケジュールドクターとして機動的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

凡例	科目名	単位数	学修成果と評価方法
----	-----	-----	-----------

生命科学	2	カリキュラム・マップ	E E E E E E E C C C E E E E E E E E C D E D D E E E E E E E E E E E E
------	---	------------	---

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%)      ② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計(100%)	
1 定期試験：筆記試験（記述式）	50															
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	30															
3 小テスト：筆記試験（記述式）	5															
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）	15															
5 口頭試験																
6 レポート																
7 成果発表																
8 質問紙法																
9 直接観察法（横断または実際の患者）																
10 OSCE																
11 監査（オーディット）																
12 ポートフォリオ																
13 自己評価																
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																
合計(100%)	100															

目標とする平均点	75点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

I. プロフェッショナリズム	II. 医学知識	III. 医療の実践	IV. 問題対応能力	V. コミュニケーション	VI. 科学的探求	VII. 地域医療	VIII. 国際貢献
1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身振りと振る舞いができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。
2 法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重んじることができる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身に付けている。
3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した上で判断できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の診断に応用できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	3 最新の情報を探求し、問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	3 フライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	3 医療・保健に関わる国際協力への役割を説明できる。
4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に即して正しく実践できる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	4 指導力及び協働性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。
5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	5 医療チームのメンバーとして多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	5 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
6 入退の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。							
7 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。							
8 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。							

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スケジュールドクターとして機動的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
E 経験・修得する機会がない	

科目名	単位数	学修成果と評価方法	凡例	
			高度	応用
自然科学実験	1	カリキュラム・マップ	E	E
		アセスメント・マップ	E	E
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)		
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)		
		評価形式		
		1 定期試験：筆記試験（記述式）		
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）		
		3 小テスト：筆記試験（記述式）		
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）	3	c
		5 口頭試験		
		6 レポート	77	b
		7 成果発表		
		8 質問紙法		
		9 直接観察法（横型または実際の患者）		
		10 OSCE		
11 監査（オーディット）				
12 ポートフォリオ				
13 自己評価				
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	20	c		
合計（100%）	100			
目標とする平均点		80点		
再試験の回数		0回		
授業形態		対面授業科目		

I. プロフェッショナリズム	II. 医学知識	III. 医療の実践	IV. 問題対応能力	V. コミュニケーション	VI. 科学的探求	VII. 地域医療	VIII. 国際貢献
1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身振り動作を振舞うことができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。
2 法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身に付けている。
3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した上で適切に行動できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の説明に活用できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができ、説明できる。	3 最新の情報を探求し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	3 医病チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	3 フライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	3 医療・保健に関わる国際協力への役割を説明できる。
4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に即して正しく実践できる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	4 指導力及び協働性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法を、研究倫理について説明できる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。
5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	5 医療チームのメンバーとして多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
6 入退の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。							
7 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。							
8 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。							
9 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身に付けている。							
10 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。							
11 医療・保健に関わる国際協力への役割を説明できる。							
12 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身に付けている。							
13 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。							
14 医療・保健に関わる国際協力への役割を説明できる。							
15 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身に付けている。							
16 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。							
17 医療・保健に関わる国際協力への役割を説明できる。							
18 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身に付けている。							
19 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。							
20 医療・保健に関わる国際協力への役割を説明できる。							

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%)		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)	
評価形式			
1 定期試験：筆記試験（記述式）			
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）			
3 小テスト：筆記試験（記述式）			
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）	3	c	
5 口頭試験			
6 レポート	77	b	a
7 成果発表			
8 質問紙法			
9 直接観察法（横型または実際の患者）			
10 OSCE			
11 監査（オーディット）			
12 ポートフォリオ			
13 自己評価			
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	20	c	b
合計（100%）	100		
目標とする平均点		80点	
再試験の回数		0回	
授業形態		対面授業科目	

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分
高度 Advanced S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied A 診療参加型実習を経験し、スケジュールドクターとして機能的に参与、行動できる
基礎 Basic B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
C 医学生として基礎となる能力を修得している
D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
E 経験・修得する機会がない

Table with 50 columns representing various competencies (I-VIII) and 20 rows of evaluation criteria (1-20). Each cell contains a letter (a, b, c) or is blank, indicating the proficiency level of the curriculum map.

① 評価形式ごとの評価割合 (%) ② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含まれている項目)

Table showing evaluation forms (1-14) and their weights. Row 14 is marked as 'その他' with a weight of 1. The total row shows a 100% total weight.

Summary table with 2 columns and 4 rows: 目標とする平均点 (75点), 再試験の回数 (1回), 授業形態 (対面授業科目).





カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を修了し、ステューデントドクターとして積極的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

凡例	科目名	単位数	学修成果と評価方法
----	-----	-----	-----------

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンション																																																											
I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識						III. 医療の実践						IV. 問題対応能力						V. コミュニケーション						VI. 科学的探求						VII. 地域医療						VIII. 国際貢献																	
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
<b>カリキュラム・マップ</b>																																																											
<b>アセスメント・マップ</b>																																																											
① 評価形式ごとの評価割合 (%)																																																											
② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含まれている項目)																																																											
評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計(100%)	目標とする平均点	再試験の回数	授業形態																																									
1	定期試験：筆記試験（記述式）	60													20	75点	1回	対面授業科目																																									
2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																																										
3	小テスト：筆記試験（記述式）																																																										
4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																																										
5	口頭試験																																																										
6	レポート																																																										
7	成果発表																																																										
8	質問紙法																																																										
9	直接観察法（模倣または実際の患者）																																																										
10	OSCE																																																										
11	監査（オーディット）																																																										
12	ポートフォリオ																																																										
13	自己評価																																																										
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載														20 (他、授業形態)																																												
合計(100%)		100																																																									



札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分

高度 Advanced	S	初期臨床研修終了のレベルである
応用 Applied	A	診療参加型実習を修了し、ステューデントクワーターとして積極的に関与、行動できる
基礎 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C	医学生として基礎となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

凡例	科目名	単位数	学修成果と評価方法
	ロシア語	1	カリキュラム・マップ
			アセスメント・マップ
			① 評価形式ごとの評価割合 (%)
			② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)
	評価形式		
	1 定期試験：筆記試験 (記述式)	60	
	2 定期試験：筆記試験 (多肢選択式)		
	3 小テスト：筆記試験 (記述式)	10	
	4 小テスト：筆記試験 (多肢選択式)		
	5 口頭試験		
	6 レポート		
	7 成果発表		
	8 質問紙法		
	9 直接観察法 (模写または実際の患者)		
	10 OSCE		
	11 監査 (オーディット)		
	12 ポートフォリオ		
	13 自己評価		
	14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	30 (授業、態度、出席)	
	合計 (100%)	100	
	目標とする平均点	75点	
	再試験の回数	1回	
	授業形態	対面授業科目	

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー																																													
I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション				VI. 科学的探究				VII. 地域医療			VIII. 国際貢献													
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
アセスメント・マップ																																													
① 評価形式ごとの評価割合 (%)																																													
② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)																																													
評価形式																																													
1 定期試験：筆記試験 (記述式)	60																																												
2 定期試験：筆記試験 (多肢選択式)																																													
3 小テスト：筆記試験 (記述式)	10																																												
4 小テスト：筆記試験 (多肢選択式)																																													
5 口頭試験																																													
6 レポート																																													
7 成果発表																																													
8 質問紙法																																													
9 直接観察法 (模写または実際の患者)																																													
10 OSCE																																													
11 監査 (オーディット)																																													
12 ポートフォリオ																																													
13 自己評価																																													
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	30 (授業、態度、出席)																																												
合計 (100%)	100																																												
目標とする平均点	75点																																												
再試験の回数	1回																																												
授業形態	対面授業科目																																												

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を修了し、シミュレーション・シナリオとして模範的に聞き、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

中国語	1	カリキュラム・マップ
-----	---	------------

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識		III. 医療の実践		IV. 問題対応能力		V. コミュニケーション		VI. 科学的探求		VII. 地域医療		VIII. 国際貢献			
1	医療倫理及び生命倫理の原則を説明し、具体的な状況に適用できる。	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	1	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	1	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	1	乳癌及び乳部を重んじ、相応しい身振りや振る舞いができる。	1	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	1	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	1	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解するための重要性を説明できる。		
2	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	2	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	2	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	2	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	2	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	2	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	2	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。		
3	生及び死に関する倫理的な問題を多角的に認識した上で行動できる。	3	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	3	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	3	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	3	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	3	科学的思考に基づいた探求心を身につけている。	3	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	3	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。		
4	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	4	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	4	災害時の医療について説明できる。	4	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	4	指導力及び協働性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	4	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法を研究し、研究倫理について説明できる。	4	5個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	4	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	4	国際社会における医学的課題を説明できる。
5	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	5	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	5	医療安全、感染症対策を実践できる。	5	問題解決に向けた構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5	乳癌及び乳部を重んじ、相応しい身振りや振る舞いができる。	5	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	5	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	5	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	5	国際社会における医学的課題を説明できる。

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含まれている項目)

評価形式	割合 (%)	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII
1 定期試験：筆記試験（記述式）	60								c
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）									
3 小テスト：筆記試験（記述式）	10								c
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）									
5 口頭試験									
6 レポート									
7 成果発表	20								c
8 質問紙法									
9 直接観察法（模写または実際の患者）									
10 OSCE									
11 監査（オーディット）									
12 ポートフォリオ									
13 自己評価									
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	10 (授業態度、出席)								c
合計 (100%)	100								

目標とする平均点	75点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンツ・コンピテンション

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識		III. 医療の実践		IV. 問題対応能力		V. コミュニケーション		VI. 科学的探求		VII. 地域医療		VIII. 国際貢献	
1	医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	1	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	1	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	1	乳癌及び乳部を重点し、相応しい身振りや振る舞いができる。	1	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	1	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	1	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解するための重要性を説明できる。
2	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	2	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	2	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	2	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	2	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	2	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	2	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。
3	生及び死に関する倫理的な問題を多角的に認識した上で行動できる。	3	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	3	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	3	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	3	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	3	科学的思考に基づいた探求心を身につけている。	3	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	3	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。
4	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	4	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	4	災害時の医療について説明できる。	4	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	4	指導力及び協働性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	4	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法を研究倫理について説明できる。	4	5個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	4	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。
5	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	5	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	5	医療安全、感染症対策を実践できる。	5	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	5	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	5	科学的思考に基づいた探求心を身につけている。	5	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	5	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解するための重要性を説明できる。
6	入国の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けていく。														

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を修了し、スチューデントクワーターとして模範的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
スポーツと健康	1	カリキュラム・マップ

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計 (100%)
1 定期試験：筆記試験 (記述式)															
2 定期試験：筆記試験 (多肢選択式)															
3 小テスト：筆記試験 (記述式)															
4 小テスト：筆記試験 (多肢選択式)															
5 口頭試験															
6 レポート	90					b									
7 成果発表															
8 質問紙法															
9 直接観察法 (模写または実際の患者)															
10 OSCE															
11 監査 (オーディット)															
12 ポートフォリオ															
13 自己評価															
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	10						a	a							
合計 (100%)	100														

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

目標とする平均点	80点
再試験の回数	0回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を修了し、シミュレーション・ドクターとして模範的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

凡例	科目名	単位数	学修成果と評価方法
----	-----	-----	-----------

情報科学	2	カリキュラム・マップ	E
		アセスメント・マップ	E
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)	E
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含まれている項目)	E
		評価形式	E
		1 定期試験：筆記試験（記述式）	100
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	
		3 小テスト：筆記試験（記述式）	
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）	
		5 口頭試験	
		6 レポート	
		7 成果発表	
		8 質問紙法	
		9 直接観察法（模写または実際の患者）	
		10 OSCE	
		11 監査（オーディット）	
		12 ポートフォリオ	
		13 自己評価	
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	
		合計（100%）	100
		目標とする平均点	75点
		再試験の回数	1回
		授業形態	対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー																																																																																			
I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力				V. コミュニケーション				VI. 科学的探求			VII. 地域医療			VIII. 国際貢献																																																					
1	医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	2	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	3	生及び死に関する倫理的な問題を多角的に認識した上で判断し、行動できる。	4	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6	人倫の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けていく。	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	4	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	5	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5	医療安全、感染症対策を実践できる。	6	災害時の医療について説明できる。	1	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身振りを振る舞うことができる。	2	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4	指導力及び協働性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3	科学的思考に基づいた探求心を身につけている。	4	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3	医療・保健に関わる国際協力への役割を説明できる。	4	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	5	国際社会における医学的な課題を説明できる。

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スケジュールドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

凡例	科目名	単位数	学修成果と評価方法
	行動科学実習	1	カリキュラム・マップ アセスメント・マップ ① 評価形式ごとの評価割合 (%) ② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)
	評価形式		
	1 定期試験：筆記試験（記述式）		
	2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）		
	3 小テスト：筆記試験（記述式）	50	
	4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）		
	5 口頭試験		
	6 レポート	50	
	7 成果発表		
	8 質問紙法		
	9 直接観察法（横型または実際の患者）		
	10 OSCE		
	11 監査（オーディット）		
	12 ポートフォリオ		
	13 自己評価		
	14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載		
	合計（100%）	100	
	目標とする平均点		75点
	再試験の回数		1回
	授業形態		対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー																																											
I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識						III. 医療の実践						IV. 問題対応能力				V. コミュニケーション				VI. 科学的探求		VII. 地域医療			VIII. 国際貢献												
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
1 医療倫理及び生命倫理の原則を説明し、具体的な状況に適用できる。	2 法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した上で判断できる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人倫の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けていく。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の診断に活用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に即して正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協働性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 フライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解するための重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力への役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。		
D	E	D	E	E	D	D	D	C	C	D	E	E	E	D	E	E	C	B	D	C	D	E	E	E	E	D	D	C	C	E	E	E	E	E	E	E	D	E	E	E	E		

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スケジュールドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

医学史	0.5	カリキュラム・マップ
-----	-----	------------

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識		III. 医療の実践		IV. 問題対応能力		V. コミュニケーション		VI. 科学的探求		VII. 地域医療		VIII. 国際貢献			
1	医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	1	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	1	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	1	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	1	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	1	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解するための重要性を説明できる。	1	国際社会における医学的課題を説明できる。		
2	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	2	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	2	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	2	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	2	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	2	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	2	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	2	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	2	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。
3	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した上で判断できる。	3	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の診断に活用できる。	3	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することが可能である。	3	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	3	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	3	科学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	3	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	3	医療・保健に関わる国際協力への役割を説明できる。	3	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。
4	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	4	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	4	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に即して正しく実践できる。	4	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	4	指導力及び協働性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	4	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	4	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	4	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	4	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。
5	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	5	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	5	災害時の医療について説明できる。	5	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	5	1人1人の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	5	科学的知見に基づいた探究心を身につけている。	5	地域医療における地域医療の位置付けについて説明できる。	5	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解するための重要性を説明できる。	5	国際社会における医学的課題を説明できる。
6	人命の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けていく。																

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%)      ② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計(100%)
1 定期試験：筆記試験（記述式）															
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）															
3 小テスト：筆記試験（記述式）															
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）															
5 口頭試験															
6 レポート	50	a	a	a	a	a	a								
7 成果発表	40	a	a	a	a	a	a								
8 質問紙法															
9 直接観察法（横型または実際の患者）															
10 OSCE															
11 監査（オーディット）															
12 ポートフォリオ															
13 自己評価															
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載										b	b			a	
合計(100%)	100														

目標とする平均点	80点
再試験の回数	0回      再評価の機会を設ける
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スケジュールドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

医学入門セミナー	2	カリキュラム・マップ
----------	---	------------

**アセスメント・マップ**

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計(100%)
1 定期試験：筆記試験（記述式）															
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）															
3 小テスト：筆記試験（記述式）															
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）															
5 口頭試験															
6 レポート		100													
7 成果発表															
8 質問紙法															
9 直接観察法（横型または実際の患者）															
10 OSCE															
11 監査（オーディット）															
12 ポートフォリオ															
13 自己評価															
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載															
合計(100%)		100													

目標とする平均点 75点

再試験の回数 1回

授業形態 対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー																																															
I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識						III. 医療の実践						IV. 問題対応能力				V. コミュニケーション				VI. 科学的探求				VII. 地域医療				VIII. 国際貢献													
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
E	E	E	E	E	E	E	C	D	D	D	E	E	E	E	E	E	E	D	E	E	E	E	E	E	E	C	C	D	D	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E				

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スケジュールドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

初年次 セミナー	1	カリキュラム・マップ
-------------	---	------------

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー																																																																																																																																																																																																																																																																									
I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識						III. 医療の実践						IV. 問題対応能力				V. コミュニケーション				VI. 科学的探求				VII. 地域医療				VIII. 国際貢献																																																																																																																																																																																																																																							
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6																																																																																																																																																																																																																																
E	E	E	D	E	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	D	D	E	E	C	C	D	D	D	D	B	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E																																																																																																																																																																																																																												
<b>アセスメント・マップ</b> ① 評価形式ごとの評価割合 (%) <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>評価形式</th> <th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th><th>5</th><th>6</th><th>7</th><th>8</th><th>9</th><th>10</th><th>11</th><th>12</th><th>13</th><th>14</th> </tr> <tr> <td>1 定期試験：筆記試験（記述式）</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>3 小テスト：筆記試験（記述式）</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>5 口頭試験</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>6 レポート</td> <td>50</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>7 成果発表</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>8 質問紙法</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>9 直接観察法（横型または実際の患者）</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>10 OSCE</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>11 監査（オーディット）</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>12 ポートフォリオ</td> <td>30</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>13 自己評価</td> <td>20</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>合計（100%）</td> <td>100</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> </table>																										評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	1 定期試験：筆記試験（記述式）															2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）															3 小テスト：筆記試験（記述式）															4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）															5 口頭試験															6 レポート	50														7 成果発表															8 質問紙法															9 直接観察法（横型または実際の患者）															10 OSCE															11 監査（オーディット）															12 ポートフォリオ	30														13 自己評価	20														14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載															合計（100%）	100													
評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14																																																																																																																																																																																																																																																											
1 定期試験：筆記試験（記述式）																																																																																																																																																																																																																																																																									
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																																																																																																																																																																																																																																																									
3 小テスト：筆記試験（記述式）																																																																																																																																																																																																																																																																									
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																																																																																																																																																																																																																																																									
5 口頭試験																																																																																																																																																																																																																																																																									
6 レポート	50																																																																																																																																																																																																																																																																								
7 成果発表																																																																																																																																																																																																																																																																									
8 質問紙法																																																																																																																																																																																																																																																																									
9 直接観察法（横型または実際の患者）																																																																																																																																																																																																																																																																									
10 OSCE																																																																																																																																																																																																																																																																									
11 監査（オーディット）																																																																																																																																																																																																																																																																									
12 ポートフォリオ	30																																																																																																																																																																																																																																																																								
13 自己評価	20																																																																																																																																																																																																																																																																								
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																																																																																																																																																																																																																																																									
合計（100%）	100																																																																																																																																																																																																																																																																								
② 評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目） <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>評価形式</th> <th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th><th>5</th><th>6</th><th>7</th><th>8</th><th>9</th><th>10</th><th>11</th><th>12</th><th>13</th><th>14</th> </tr> <tr> <td>1 定期試験：筆記試験（記述式）</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>3 小テスト：筆記試験（記述式）</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>5 口頭試験</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>6 レポート</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>a</td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>7 成果発表</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>8 質問紙法</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>9 直接観察法（横型または実際の患者）</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>10 OSCE</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>11 監査（オーディット）</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>12 ポートフォリオ</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>a</td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>13 自己評価</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>合計（100%）</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> </table>																										評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	1 定期試験：筆記試験（記述式）															2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）															3 小テスト：筆記試験（記述式）															4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）															5 口頭試験															6 レポート										a					7 成果発表															8 質問紙法															9 直接観察法（横型または実際の患者）															10 OSCE															11 監査（オーディット）															12 ポートフォリオ											a				13 自己評価															14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載															合計（100%）														
評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14																																																																																																																																																																																																																																																											
1 定期試験：筆記試験（記述式）																																																																																																																																																																																																																																																																									
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																																																																																																																																																																																																																																																									
3 小テスト：筆記試験（記述式）																																																																																																																																																																																																																																																																									
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																																																																																																																																																																																																																																																									
5 口頭試験																																																																																																																																																																																																																																																																									
6 レポート										a																																																																																																																																																																																																																																																															
7 成果発表																																																																																																																																																																																																																																																																									
8 質問紙法																																																																																																																																																																																																																																																																									
9 直接観察法（横型または実際の患者）																																																																																																																																																																																																																																																																									
10 OSCE																																																																																																																																																																																																																																																																									
11 監査（オーディット）																																																																																																																																																																																																																																																																									
12 ポートフォリオ											a																																																																																																																																																																																																																																																														
13 自己評価																																																																																																																																																																																																																																																																									
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																																																																																																																																																																																																																																																									
合計（100%）																																																																																																																																																																																																																																																																									
目標とする平均点		80点																																																																																																																																																																																																																																																																							
再試験の回数		1回																																																																																																																																																																																																																																																																							
授業形態		対面授業科目																																																																																																																																																																																																																																																																							

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スケジュールドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

医学概論・医療総論1	0.5	カリキュラム・マップ
------------	-----	------------

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計(100%)
1 定期試験：筆記試験（記述式）															
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）															
3 小テスト：筆記試験（記述式）															
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）															
5 口頭試験															
6 レポート	75	a	a	b	c	b	c					a	b		
7 成果発表	15	a	b	b	c								b	c	
8 質問紙法															
9 直接観察法（横型または実際の患者）															
10 OSCE															
11 監査（オーディット）															
12 ポートフォリオ															
13 自己評価															
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載														a 10 (別添別表の出席点)	
合計(100%)	100														

目標とする平均点	80点
再試験の回数	0回 再評価の機会を設ける
授業形態	対面授業科目

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献																																											
1	医療倫理及び生命倫理の原則を説明し、具体的な状況に適用できる。	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	1	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	1	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	1	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	1	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	1	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	1	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解するための重要性を説明できる。	1	医療倫理及び生命倫理の原則を説明し、具体的な状況に適用できる。	2	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	2	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	2	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	2	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	2	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	2	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	2	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	3	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した上で判断できる。	3	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	3	臨床情報整理して臨床推論を行い、診断することができる。	3	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	3	指導力及び協働性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	3	科学的知見を獲得するための科学的な理論や方法を研究倫理について説明できる。	3	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	3	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	4	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	4	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	4	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4	医学的知見を基にした探究心を身につけている。	4	地域医療における地域医療の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	4	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解するための重要性を説明できる。	4	医療・保健に関わる国際協力への役割を説明できる。	5	医師の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	5	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	5	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	5	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	5	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	5	国際社会における医学的課題を説明できる。	5	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を修了し、シミュレーション・シナリオとして模範的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
地域医療合同セミナー1	1	カリキュラム・マップ
		アセスメント・マップ
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)
評価形式		
1 定期試験：筆記試験（記述式）		
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）		
3 小テスト：筆記試験（記述式）		
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）		
5 口頭試験		
6 レポート	60	a c
7 成果発表	20	a c
8 質問紙法		
9 直接観察法（横型または実演の患者）		
10 OSCE		
11 監査（オーディット）		
12 ポートフォリオ		
13 自己評価		
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	20	b c c
合計（100%）	100	
目標とする平均点		85点
再試験の回数		1回
授業形態		対面授業科目

I. プロフェッショナリズム	II. 医学知識	III. 医療の実践	IV. 問題対応能力	V. コミュニケーション	VI. 科学的探求	VII. 地域医療	VIII. 国際貢献
1 医療倫理及び生命倫理の原則を説明し、具体的な状況に適用できる。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解するための重要性を説明できる。
2 法的規範の根拠にある倫理的な考え方を説明できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身に付けている。
3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した上で判断できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することが出来る。	3 最新の情報を探求し、問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	3 フライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	3 医療・保健に関わる国際協力への役割を説明できる。
4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的必要性を説明できる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に即して正しく実践できる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	4 指導力及び協同性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法を、研究倫理について説明できる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	4 医療・保健に関わる国際協力への役割を説明できる。
5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	5 地域医療の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	5 国際社会における医学的課題を説明できる。
6 入退の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。							

c	d	d	c	d	c	e	e	e	d	d	d	d	d	d	e	d	d	d	d	e	e	d
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スケジュールドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

医療行動科学1	1	カリキュラム・マップ
---------	---	------------

**アセスメント・マップ**

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計(100%)	目標とする平均点	再試験の回数	授業形態	
1 定期試験：筆記試験（記述式）																			
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																			
3 小テスト：筆記試験（記述式）																			
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																			
5 口頭試験																			
6 レポート	100					a	b	a	b	a						75点	1回	対面授業科目	
7 成果発表																			
8 質問紙法																			
9 直接観察法（横型または実際の患者）																			
10 OSCE																			
11 監査（オーディット）																			
12 ポートフォリオ																			
13 自己評価																			
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																			
合計(100%)	100																		

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー																																																																																	
I. プロフェッショナリズム					II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献																																														
1	医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	2	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	3	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した上で適切に行動できる。	4	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6	入退の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けていく。	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	5	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に即して正しく実践できる。	5	医療安全、感染症対策を実践できる。	6	災害時の医療について説明できる。	1	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3	最新の情報を探求し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4	指導力及び協働性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法を、研究倫理について説明できる。	1	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに伴った役割を説明できる。	2	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3	フライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3	医療・保健に関わる国際協力への役割を説明できる。	4	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。



カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を体験し、スケジュールドクターとして機能的に聞き、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法	
内眼解剖学	2.5	カリキュラム・マップ	
		アセスメント・マップ	
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)	
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)	
		評価形式	
		1 定期試験：筆記試験（記述式）	70
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	30
		3 小テスト：筆記試験（記述式）	
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）	
		5 口頭試験	
		6 レポート	
		7 成果発表	
		8 質問紙法	
		9 直接観察法（横型または実際の患者）	
10 OSCE			
11 監査（オーディット）			
12 ポートフォリオ			
13 自己評価			
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載			
合計（100%）	100		
目標とする平均点	75点		
再試験の回数	1回		
授業形態	対面授業科目		

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー																																												
I. プロフェッショナリズム					II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献									
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
D	D	D	D	E	E	E	E	E	E	C	C	C	C	C	D	E	E	E	E	E	E	E	E	E	D	D	C	D	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E					
アセスメント・マップ																																												
① 評価形式ごとの評価割合 (%)																																												
② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)																																												
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
					a	a	a	a							a										a																			
						a	a	a	a																																			
合計（100%）		100																																										
目標とする平均点		75点																																										
再試験の回数		1回																																										
授業形態		対面授業科目																																										



カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修終了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を修了し、ステューデントクワーターとして模範的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

細胞・組織学1	1	カリキュラム・マップ
---------	---	------------

**アセスメント・マップ**

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計(100%)	目標とする平均点	再試験の回数	授業形態	
1 定期試験：筆記試験（記述式）	30																		
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	60																		
3 小テスト：筆記試験（記述式）																			
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																			
5 口頭試験																			
6 レポート																			
7 成果発表																			
8 質問紙法																			
9 直接観察法（模写または実際の患者）																			
10 OSCE																			
11 監査（オーディット）																			
12 ポートフォリオ																			
13 自己評価																			
14 その他 課題提出などとの総合判定とする	10																		
合計(100%)	100																		
目標とする平均点		70点																	
再試験の回数		1回																	
授業形態		対面授業科目																	

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンション																																																																																			
I. プロフェッショナリズム					II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献																																																
1	医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	2	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	3	生及び死に関する倫理的な問題を多角的に認識した上で行動できる。	4	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚して行動できる。	5	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6	人倫の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身につけている。	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	4	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	5	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5	医療安全、感染症対策を実践できる。	6	災害時の医療について説明できる。	1	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身振りを振る舞いができる。	2	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4	指導力及び協働性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解するこの重要性を説明できる。	2	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	5	国際社会における医学的な課題を説明できる。

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を修了し、スケジュールドクターとして機動的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

分子生物学1	1	カリキュラム・マップ
--------	---	------------

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識		III. 医療の実践		IV. 問題対応能力		V. コミュニケーション		VI. 科学的探求		VII. 地域医療		VIII. 国際貢献			
1	医療倫理及び生命倫理の原則を説明し、具体的な状況に適用できる。	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	1	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	1	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	1	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	1	医学的研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	1	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	1	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解するこの重要性を説明できる。		
2	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	2	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	2	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	2	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	2	科学的知見を獲得するための科学的な理論や方法を研究倫理について説明できる。	2	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	2	社会経済における地域医療の位置づけについて説明できる。	2	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。		
3	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した上で判断できる。	3	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の診断に活用できる。	3	医療の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	3	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	3	医療研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	3	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	3	医療・保健に関わる国際協力への役割を説明できる。		
4	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	4	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	4	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に即して正しく実践できる。	4	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	4	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	4	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	4	科学的知見を獲得するための科学的な理論や方法を研究倫理について説明できる。	4	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	4	医療・保健に関わる国際協力への役割を説明できる。
5	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	5	医療安全、感染症対策を実践できる。	5	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	5	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	5	指導力及び協働性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	5	科学的知見を獲得するための科学的な理論や方法を研究倫理について説明できる。	5	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	5	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解するこの重要性を説明できる。
6	人命の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	6	災害時の医療について説明できる。	6	災害時の医療について説明できる。	6	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	6	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	6	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	6	科学的知見を獲得するための科学的な理論や方法を研究倫理について説明できる。	6	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	6	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解するこの重要性を説明できる。

**アセスメント・マップ**

① 評価形式ごとの評価割合 (%)      ② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含まれている項目)

評価形式	割合 (%)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
1 定期試験：筆記試験（記述式）	40									a	a	a	a		
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	60									a	a	a	a		
3 小テスト：筆記試験（記述式）															
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）															
5 口頭試験															
6 レポート															
7 成果発表															
8 質問紙法															
9 直接観察法（横型または実際の患者）															
10 OSCE															
11 監査（オーディット）															
12 ポートフォリオ															
13 自己評価															
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載															
合計（100%）	100														

目標とする平均点	70点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を修了し、ステューデントクワータ―として積極的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

凡例	科目名	単位数	学修成果と評価方法
----	-----	-----	-----------

免疫学	2	カリキュラム・マップ	E
-----	---	------------	---

**アセスメント・マップ**

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

評価形式	1 定期試験：筆記試験（記述式）	70
	2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	30
	3 小テスト：筆記試験（記述式）	
	4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）	
	5 口頭試験	
	6 レポート	
	7 成果発表	
	8 質問紙法	
	9 直接観察法（模写または実際の患者）	
	10 OSCE	
	11 監査（オーディット）	
	12 ポートフォリオ	
	13 自己評価	
	14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	
合計（100%）		100

目標とする平均点	75点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー																																																																																			
I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識						III. 医療の実践						IV. 問題対応能力				V. コミュニケーション				VI. 科学的探求				VII. 地域医療				VIII. 国際貢献																																																	
1	医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	2	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	3	生及び死に関する倫理的な問題を多角的に認識した上で判断し行動できる。	4	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6	入他の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けていく。	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	4	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	5	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5	医療安全、感染症対策を実践できる。	6	災害時の医療について説明できる。	1	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身振りを振る舞いができる。	2	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4	指導力及び協働性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3	科学的思考に基づいた探求心を身につけている。	4	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解するための重要性を説明できる。	2	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3	医療・保健に関わる国際協力への役割を説明できる。	4	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	5	国際社会における医学的な課題を説明できる。

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を修了し、ステューデントクワーターとして積極的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

凡例	科目名	単位数	学修成果と評価方法
	免疫学実習	0.5	カリキュラム・マップ
			アセスメント・マップ
			① 評価形式ごとの評価割合 (%)
			② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含まれている項目)
	評価形式		
	1 定期試験：筆記試験（記述式）		
	2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）		
	3 小テスト：筆記試験（記述式）		
	4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）		
	5 口頭試験		
	6 レポート	80	a a a a
	7 成果発表		b a a a
	8 質問紙法		
	9 直接観察法（模写または実際の患者）		
	10 OSCE		
	11 監査（オーディット）		
	12 ポートフォリオ		
	13 自己評価		
	14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	20	b b b b
	合計（100%）	100	
	目標とする平均点	75点	
	再試験の回数	1回	
	授業形態	対面授業科目	

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー																																																																																			
I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識						III. 医療の実践						IV. 問題対応能力						V. コミュニケーション						VI. 科学的探求						VII. 地域医療						VIII. 国際貢献																																									
1	医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	2	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	3	生及び死に関する倫理的な問題を多角的に認識した上で行動できる。	4	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚して行動できる。	5	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6	人倫の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けていく。	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	4	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	5	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することが出来る。	4	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5	医療安全、感染症対策を実践できる。	6	災害時の医療について説明できる。	1	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身振りと振る舞いができる。	2	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることが出来る。	3	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4	指導力及び協働性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2	医学研究を進捗させる意欲と基礎的素養を有している。	3	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解するための重要性を説明できる。	2	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3	医療・保健に関わる国際協力への役割を説明できる。	4	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	5	国際社会における医学的な課題を説明できる。
E	E	E	E	E	E	C	C	C	C	C	D	E	E	E	E	D	D	D	D	D	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E																																						

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スケジュールドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法	
国際医療	1	カリキュラム・マップ	
		アセスメント・マップ	
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)	
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含まれている項目)	
		評価形式	
		1 定期試験：筆記試験（記述式）	
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	
		3 小テスト：筆記試験（記述式）	
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）	
		5 口頭試験	
		6 レポート	100
		7 成果発表	
		8 質問紙法	
		9 直接観察法（横型または縦型の患者）	
10 OSCE			
11 監査（オーディット）			
12 ポートフォリオ			
13 自己評価			
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載			
合計（100%）	100		
目標とする平均点	80点		
再試験の回数	1回		
授業形態	対面授業科目		

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識						III. 医療の実践						IV. 問題対応能力						V. コミュニケーション				VI. 科学的探求				VII. 地域医療				VIII. 国際貢献																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
アセスメント・マップ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
① 評価形式ごとの評価割合 (%)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含まれている項目)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価形式</th> <th>I.1</th><th>I.2</th><th>I.3</th><th>I.4</th><th>I.5</th><th>I.6</th> <th>II.1</th><th>II.2</th><th>II.3</th><th>II.4</th><th>II.5</th><th>II.6</th> <th>III.1</th><th>III.2</th><th>III.3</th><th>III.4</th><th>III.5</th><th>III.6</th> <th>IV.1</th><th>IV.2</th><th>IV.3</th><th>IV.4</th><th>IV.5</th><th>IV.6</th> <th>V.1</th><th>V.2</th><th>V.3</th><th>V.4</th> <th>VI.1</th><th>VI.2</th><th>VI.3</th><th>VI.4</th> <th>VII.1</th><th>VII.2</th><th>VII.3</th><th>VII.4</th><th>VII.5</th> <th>VIII.1</th><th>VIII.2</th><th>VIII.3</th><th>VIII.4</th><th>VIII.5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 定期試験：筆記試験（記述式）</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>3 小テスト：筆記試験（記述式）</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>5 口頭試験</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>6 レポート</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>7 成果発表</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>8 質問紙法</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>9 直接観察法（横型または縦型の患者）</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>10 OSCE</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>11 監査（オーディット）</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>12 ポートフォリオ</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>13 自己評価</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>合計（100%）</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> </tbody> </table>																										評価形式	I.1	I.2	I.3	I.4	I.5	I.6	II.1	II.2	II.3	II.4	II.5	II.6	III.1	III.2	III.3	III.4	III.5	III.6	IV.1	IV.2	IV.3	IV.4	IV.5	IV.6	V.1	V.2	V.3	V.4	VI.1	VI.2	VI.3	VI.4	VII.1	VII.2	VII.3	VII.4	VII.5	VIII.1	VIII.2	VIII.3	VIII.4	VIII.5	1 定期試験：筆記試験（記述式）																																											2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																											3 小テスト：筆記試験（記述式）																																											4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																											5 口頭試験																																											6 レポート																																											7 成果発表																																											8 質問紙法																																											9 直接観察法（横型または縦型の患者）																																											10 OSCE																																											11 監査（オーディット）																																											12 ポートフォリオ																																											13 自己評価																																											14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																											合計（100%）																																										
評価形式	I.1	I.2	I.3	I.4	I.5	I.6	II.1	II.2	II.3	II.4	II.5	II.6	III.1	III.2	III.3	III.4	III.5	III.6	IV.1	IV.2	IV.3	IV.4	IV.5	IV.6	V.1	V.2	V.3	V.4	VI.1	VI.2	VI.3	VI.4	VII.1	VII.2	VII.3	VII.4	VII.5	VIII.1	VIII.2	VIII.3	VIII.4	VIII.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
1 定期試験：筆記試験（記述式）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
3 小テスト：筆記試験（記述式）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
5 口頭試験																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
6 レポート																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
7 成果発表																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
8 質問紙法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
9 直接観察法（横型または縦型の患者）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
10 OSCE																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
11 監査（オーディット）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
12 ポートフォリオ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
13 自己評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
合計（100%）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、シミュレーション・シナリオとして模範的に聞き、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

医学英語2	0.5	カリキュラム・マップ
-------	-----	------------

**アセスメント・マップ**

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計(100%)
1 定期試験：筆記試験（記述式）	30														
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）															
3 小テスト：筆記試験（記述式）															
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）	25														
5 口頭試験															
6 レポート															
7 成果発表															
8 質問紙法															
9 直接観察法（模写または実際の患者）															
10 OSCE															
11 監査（オーディット）															
12 ポートフォリオ															
13 自己評価															
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	45 (授業態度)														
合計(100%)	100														

目標とする平均点	75点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー																																								
I. プロフェッショナリズム					II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献					
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
医療倫理及び生命倫理の原則を説明し、具体的な状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に關する倫理的な問題を多角的に認識したうえで、異なる見方が求められる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と高度のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に即して正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探求し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学的研究を遂行する態度と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	国際社会における医学的課題を説明できる。

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スケジュールドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

凡例	科目名	単位数	学修成果と評価方法
----	-----	-----	-----------

医学概論・医療総論2	0.5	カリキュラム・マップ	
------------	-----	------------	--

I. プロフェッショナリズム	II. 医学知識	III. 医療の実践	IV. 問題対応能力	V. コミュニケーション	VI. 科学的探求	VII. 地域医療	VIII. 国際貢献
1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。
2 法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重んじることができる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身に付けている。
3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した上で判断できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	3 最新の情報を探査し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	3 フライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	3 医療・保健に関わる国際協力への役割を説明できる。
4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に即して正しく実践できる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	4 指導力及び協働性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法を、研究倫理について説明できる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	4 医療・保健に関わる国際協力への役割を説明できる。
5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	5 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	5 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	5 国際社会における医学的課題を説明できる。
6 入退の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。							

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%)      ② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計(100%)
1 定期試験：筆記試験（記述式）															
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）															
3 小テスト：筆記試験（記述式）															
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）															
5 口頭試験															
6 レポート	70	a	b	c	c	c									
7 成果発表	10	a	b	c	c	c									
8 質問紙法															
9 直接観察法（横型または実際の患者）															
10 OSCE															
11 監査（オーディット）															
12 ポートフォリオ															
13 自己評価															
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	20	a	b	c	c	c									
合計(100%)	100														

目標とする平均点	80点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スケジュールドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

地域医療 合同セミナー2	1	カリキュラム・マップ
-----------------	---	------------

I. プロフェッショナリズム	II. 医学知識	III. 医療の実践	IV. 問題対応能力	V. コミュニケーション	VI. 科学的探求	VII. 地域医療	VIII. 国際貢献
1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解するための重要性を説明できる。
2 法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重んじることができる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。
3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した上で適切に行動できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	3 最新の情報を探求し、問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	3 フライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	3 医療・保健に関わる国際協力への役割を説明できる。
4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的必要性を説明できる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に即して正しく実践できる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	4 指導力及び協同性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法を、研究倫理について説明できる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	4 医療・保健に関わる国際協力への役割を説明できる。
5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	5 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	5 国際社会における医学的課題を説明できる。
6 入退の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けていく。							

**アセスメント・マップ**

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計(100%)
1 定期試験：筆記試験（記述式）															
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）															
3 小テスト：筆記試験（記述式）															
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）															
5 口頭試験															
6 レポート	60	c		c	c		c	c				a	b	c	
7 成果発表	20	c		c	c		c	c	a	c	c			a	c
8 質問紙法															
9 直接観察法（横型または実際の患者）															
10 OSCE															
11 監査（オーディット）															
12 ポートフォリオ															
13 自己評価															
14 その他評価形式が「その他」の場合、内容を記載	20	c		c	b				c	c		a	c	b	a
合計(100%)	100														

目標とする平均点	80点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目



札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を修了し、学生として臨床研修を開始するための能力を修得している
	B 医学生として臨床研修を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
基礎 Basic	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

凡例	科目名	単位数	学修成果と評価方法																
	医療統計学 入門	0.5	カリキュラム・マップ																
アセスメント・マップ																			
① 評価形式ごとの評価割合 (%)																			
② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含まれている項目)																			
評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計(100%)	目標とする平均点	再試験の回数	授業形態	
	1 定期試験：筆記試験（記述式）															35			
	2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																		
	3 小テスト：筆記試験（記述式）																		
	4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																		
	5 口頭試験																		
	6 レポート																65		
	7 成果発表																		
	8 質問紙法																		
	9 直接観察法（横断または実際の患者）																		
	10 OSCE																		
	11 監査（オーディット）																		
	12 ポートフォリオ																		
	13 自己評価																		
	14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																		
	合計(100%)															100			
	目標とする平均点																75点		
	再試験の回数																0回		
	授業形態																		対面授業科目

I. プロフェッショナリズム	II. 医学知識	III. 医療の実践	IV. 問題対応能力	V. コミュニケーション	VI. 科学的探求	VII. 地域医療	VIII. 国際貢献
1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに伴って果たすべき役割を説明できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解するための重要性を説明できる。
2 法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重んじることができる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	2 社会経済における地域医療の位置づけについて説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身に付けている。
3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した上で判断できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	3 最新の情報を探求し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	3 フライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。
4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に即して正しく実践できる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	4 指導力及び協働性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	4 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。
5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	5 医療関係者や患者と連携し、チームとして課題を解決できる。	5 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	5 地域医療の向上及び増進の重要性とそれに伴って果たすべき役割を説明できる。	5 国際社会における医学的課題を説明できる。
6 入退の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。							
7 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに伴って果たすべき役割を説明できる。							
8 地域医療の向上及び増進の重要性とそれに伴って果たすべき役割を説明できる。							
9 地域医療の向上及び増進の重要性とそれに伴って果たすべき役割を説明できる。							
10 地域医療の向上及び増進の重要性とそれに伴って果たすべき役割を説明できる。							
11 地域医療の向上及び増進の重要性とそれに伴って果たすべき役割を説明できる。							
12 地域医療の向上及び増進の重要性とそれに伴って果たすべき役割を説明できる。							
13 地域医療の向上及び増進の重要性とそれに伴って果たすべき役割を説明できる。							
14 地域医療の向上及び増進の重要性とそれに伴って果たすべき役割を説明できる。							

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スケジュールどおりとして積極的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科 目 名	単 位 数	学修成果と評価方法	
内眼解剖学 実習	3	<b>カリキュラム・マップ</b>	
		<b>アセスメント・マップ</b>	
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)	
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)	
		評価形式	
		1 定期試験：筆記試験（記述式）	
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	
		3 小テスト：筆記試験（記述式）	20
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）	
		5 口頭試験	70
		6 レポート	
		7 成果発表	
		8 質問紙法	
9 直接観察法（横断または実際の患者）			
10 OSCE			
11 監査（オーディット）			
12 ポートフォリオ			
13 自己評価			
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	10 実習態度		
合計（100%）	100		
目標とする平均点	75点		
再試験の回数	1回		
授業形態	対面授業科目		

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー																																							
I. プロフェッショナリズム					II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力				V. コミュニケーション				VI. 科学的探求			VII. 地域医療			VIII. 国際貢献										
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	4	5
医療倫理及び生命倫理の原則を説明し、具体的な状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識したうえで適切に判断できる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身にまといることができる。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができ、	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に即して正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探査し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	指導力及び協働性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学的研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけていく。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	5個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会における地域医療の位置付けについて説明できる。	社会経済における地域医療の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解するための重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力への役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	5 国際社会における医学的課題を説明できる。

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を修了し、ステューデントクワーターとして積極的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

細胞・組織学2	2.5	カリキュラム・マップ
---------	-----	------------

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含まれている項目)

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計(100%)	目標とする平均点	再試験の回数	授業形態	
1 定期試験：筆記試験（記述式）	30																		
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	60																		
3 小テスト：筆記試験（記述式）																			
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																			
5 口頭試験																			
6 レポート																			
7 成果発表																			
8 質問紙法																			
9 直接観察法（模写または実際の患者）																			
10 OSCE																			
11 監査（オーディット）																			
12 ポートフォリオ																			
13 自己評価																			
14 その他 特別講義課題などを加味した総合的判断とする	10																		
合計(100%)	100																		
目標とする平均点		70点																	
再試験の回数		1回																	
授業形態		対面授業科目																	

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー																																																																																			
I. プロフェッショナリズム					II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献																																																
1	医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	2	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	3	生及び死に関する倫理的な問題を多角的に認識した上で行動できる。	4	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚して行動できる。	5	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6	入他の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けていく。	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	4	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	5	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5	医療安全、感染症対策を実践できる。	6	災害時の医療について説明できる。	1	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身振りを振る舞いができる。	2	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4	指導力及び協働性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3	医療・保健に関わる国際協力への役割を説明できる。	4	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	5	国際社会における医学的な課題を説明できる。

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を修了し、シミュレーション・シナリオとして模範的に聞き、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

神経解剖学	1	カリキュラム・マップ
-------	---	------------

**アセスメント・マップ**

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計(100%)	目標とする平均点	再試験の回数	授業形態	
1 定期試験：筆記試験（記述式）	20																		
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	60																		
3 小テスト：筆記試験（記述式）																			
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）	10																		
5 口頭試験																			
6 レポート																			
7 成果発表																			
8 質問紙法																			
9 直接観察法（模写または実際の患者）																			
10 OSCE																			
11 監査（オーディット）																			
12 ポートフォリオ																			
13 自己評価																			
14 その他 脳実習小テストとの総合成績を判定する	10	c	c	c	c	c													
合計(100%)	100																		
目標とする平均点		70点																	
再試験の回数		1回																	
授業形態		対面授業科目																	

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー																																																																																			
I. プロフェッショナリズム					II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献																																																
1	医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	2	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	3	生及び死に関する倫理的な問題を多角的に認識した上で行動できる。	4	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚して行動できる。	5	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6	人倫の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けていく。	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	4	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	5	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3	臨床情報を整理して臨床推察を行い、診断することができる。	4	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5	医療安全、感染症対策を実践できる。	6	災害時の医療について説明できる。	1	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身振りを振る舞いができる。	2	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4	指導力及び協働性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3	科学的思考に基づいた探求心を身につけている。	4	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3	医療・保健に関わる国際協力への役割を説明できる。	4	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	5	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識		III. 医療の実践		IV. 問題対応能力		V. コミュニケーション		VI. 科学的探求		VII. 地域医療		VIII. 国際貢献			
1	医療倫理及び生命倫理の原則を説明し、具体的な状況に適用できる。	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	1	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	1	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	1	乳癌及び乳部を重んじ、相応しい身振りや振る舞いができる。	1	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	1	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	1	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。		
2	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	2	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	2	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	2	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	2	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	2	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	2	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。		
3	生及び死に関する倫理的な問題を多角的に認識した上で行動できる。	3	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	3	臨床情報を整理して臨床推察を行い、診断することができる。	3	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	3	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	3	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	3	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	3	地域医療における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	3	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。
4	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	4	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	4	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	4	問題解決及び課題探求能力を高めるため、生涯学習が重要であることを説明できる。	4	指導力及び協働性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	4	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法を研究倫理について説明できる。	4	科学の思考に基づいた探究心を身につけている。	4	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	4	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。
5	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	5	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	5	災害時の医療について説明できる。	5	問題解決及び課題探求能力を高めるため、生涯学習が重要であることを説明できる。	5	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	5	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	5	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	5	地域医療における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。
6	人倫の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身につけている。																

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を修了し、スケジュールドクターとして機能的に臨床行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
組織学・総実習	2.5	カリキュラム・マップ

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含まれている項目)

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計(100%)	
1 定期試験：筆記試験（記述式）	60															
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	10															
3 小テスト：筆記試験（記述式）																
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																
5 口頭試験																
6 レポート																
7 成果発表																
8 質問紙法																
9 直接観察法（模写または実際の患者）																
10 OSCE																
11 監査（オーディット）																
12 ポートフォリオ																
13 自己評価																
14 その他 スケッチブック 評点との総合判定とする	30	c	c	c	c	b	a	a	a	a						
合計(100%)	100															
目標とする平均点		70点														
再試験の回数		1回														
授業形態		対面授業科目														

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スケジュールドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

細胞・関生生理学	4.5	カリキュラム・マップ
----------	-----	------------

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識		III. 医療の実践		IV. 問題対応能力		V. コミュニケーション		VI. 科学的探求		VII. 地域医療		VIII. 国際貢献							
1	医療倫理及び生命倫理の原則を説明し、具体的な状況に適用できる。	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	1	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	1	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	1	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	1	地域の事例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解するための重要性を説明できる。	1	国際社会における医学的課題を説明できる。						
2	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	2	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	2	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	2	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	2	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	2	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法を、研究倫理について説明できる。	2	地域医療における地域医療の位置付けについて説明できる。	2	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身に付けている。	2	医療・保健に関わる国際協力への役割を説明できる。				
3	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した上で判断できる。	3	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	3	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	3	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	3	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	3	社会経済における地域医療の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	3	医療・保健に関わる国際協力への役割を説明できる。	3	医療・保健に関わる国際協力への役割を説明できる。				
4	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	4	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	4	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に即して正しく実践できる。	4	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	4	指導力及び協働性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	4	地域の事例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	4	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	4	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	4	地域医療における地域医療の位置付けについて説明できる。	4	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身に付けている。	4	医療・保健に関わる国際協力への役割を説明できる。
5	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	5	医療安全、感染症対策を実践できる。	5	災害時の医療について説明できる。	5	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	5	1人及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	5	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	5	地域の事例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	5	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	5	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解するための重要性を説明できる。	5	国際社会における医学的課題を説明できる。		
6	人命の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	6	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	6	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	6	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	6	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	6	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法を、研究倫理について説明できる。	6	社会経済における地域医療の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	6	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身に付けている。	6	医療・保健に関わる国際協力への役割を説明できる。	6	医療・保健に関わる国際協力への役割を説明できる。		

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計(100%)
1 定期試験：筆記試験（記述式）	50														
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	50														
3 小テスト：筆記試験（記述式）															
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）															
5 口頭試験															
6 レポート															
7 成果発表															
8 質問紙法															
9 直接観察法（横断または実際の患者）															
10 OSCE															
11 監査（オーディット）															
12 ポートフォリオ															
13 自己評価															
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載															
合計(100%)	100														

目標とする平均点	70点
再試験の回数	2回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ 区分		学修成果と評価方法	札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー																																		
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである		I. プロフェッショナルズム	II. 医学知識	III. 医療の実践	IV. 問題対応能力	V. コミュニケーション	VI. 科学的探求	VII. 地域医療	VIII. 国際貢献	その他																										
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして機能的に知り、行動できる	学修成果と評価方法	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5				
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している		C 医学生として基礎となる能力を修得している	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5			
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない	学修成果と評価方法	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5				
	E 経験・修得する機会がない		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5				
神経生理学	2.5	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	B	B	B	B	C	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E				
		アセスメント・マップ	②評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)																																		
		評価形式ごとの評価割合 (%)																																			
		1 定期試験：筆記試験（記述式）	50						a	a	a	b	b																								
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	50						a	a	a	b	b																								
		3 小テスト：筆記試験（記述式）																																			
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																			
		5 口頭試験																																			
		6 レポート																																			
		7 成果発表																																			
		8 質問紙法																																			
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																																			
		10 OSCE																																			
		11 監査（オーディット）																																			
		12 ポートフォリオ																																			
		13 自己評価																																			
		14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																			
		合計 (100%)	100																																		
		目標とする平均点																																			
		再試験の回数																																			
		授業形態																																			

凡例

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして機能的に知り、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目	単位数	学修成果と評価方法
神経生理学	2.5	カリキュラム・マップ

1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	2 法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けることができる。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の説明に活用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的必要性を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する必要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 臨床情報に基づいた医療技術を個々の状況に照して正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探究能力を高めるために、生進学習が重要な役割を果たすことができる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相対しい身振りと振る舞いができる。	2 信頼関係を築き、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協働性を示して診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多種多様なことを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性を認識し、実践する能力を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 フライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
-----------------------------------	---------------------------	------------------------------------	--------------------------------	---------------------------	---	-------------------------------	------------------------------	--	---------------------------------	--------------------------------	----------------------------------	---------------------------------	--------------------------------	------------------------------------	---------------------	--------------------	--------------------------------------	-------------------------------	----------------------------------	-------------------------------	---	--------------------------------	----------------------------------	--	---------------------------------	--	----------------------------------	----------------------------	--------------------------	--	--------------------------------	--	-------------------------------	--	------------------------------------	---	--------------------------------------	--	---------------------------	--	--------------------------

E	E	E	E	E	E	B	B	B	C	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%)		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)																																			
評価形式	割合 (%)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	
1 定期試験：筆記試験（記述式）	50							a	a	a	b	b																									
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	50							a	a	a	b	b																									
3 小テスト：筆記試験（記述式）																																					
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																					
5 口頭試験																																					
6 レポート																																					
7 成果発表																																					
8 質問紙法																																					
9 直接観察法（模型または実際の患者）																																					
10 OSCE																																					
11 監査（オーディット）																																					
12 ポートフォリオ																																					
13 自己評価																																					
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																					
合計 (100%)	100																																				
目標とする平均点																																					
再試験の回数																																					
授業形態																																					

70点  
1回  
対面授業科目

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を修了し、シミュレーション・ワークとして模範的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

凡例	科目名	単位数	学修成果と評価方法
----	-----	-----	-----------

生化学	2.5	カリキュラム・マップ	E
-----	-----	------------	---

**アセスメント・マップ**

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

評価形式	割合 (%)
1 定期試験：筆記試験（記述式）	45
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	45
3 小テスト：筆記試験（記述式）	5
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）	
5 口頭試験	
6 レポート	
7 成果発表	
8 質問紙法	
9 直接観察法（模写または実際の患者）	
10 OSCE	
11 監査（オーディット）	
12 ポートフォリオ	
13 自己評価	
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	5 学習態度
合計（100%）	100

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
1 定期試験：筆記試験（記述式）														
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）														
3 小テスト：筆記試験（記述式）														
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）														
5 口頭試験														
6 レポート														
7 成果発表														
8 質問紙法														
9 直接観察法（模写または実際の患者）														
10 OSCE														
11 監査（オーディット）														
12 ポートフォリオ														
13 自己評価														
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載														
合計（100%）														

目標とする平均点

80点

再試験の回数

1回

授業形態

対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識		III. 医療の実践		IV. 問題対応能力		V. コミュニケーション		VI. 科学的探求		VII. 地域医療		VIII. 国際貢献																										
1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	2 法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関する倫理的な問題を多角的に認識した上で行動できる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人倫の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けていく。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推察を行い、診断することが出来る。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 札幌及び礼部を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることが出来る。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協働性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探求心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 フライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解するこの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力への役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	5 国際社会における医学的な課題を説明できる。

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スケジュールドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

分子生物学2	1	カリキュラム・マップ
		アセスメント・マップ
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)
評価形式		
1 定期試験：筆記試験（記述式）	50	
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	50	
3 小テスト：筆記試験（記述式）		
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）		
5 口頭試験		
6 レポート		
7 成果発表		
8 質問紙法		
9 直接観察法（横型または実際の患者）		
10 OSCE		
11 監査（オーディット）		
12 ポートフォリオ		
13 自己評価		
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載		
合計（100%）	100	
目標とする平均点		80点
再試験の回数		1回
授業形態		対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー																																											
I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識						III. 医療の実践						IV. 問題対応能力				V. コミュニケーション				VI. 科学的探求				VII. 地域医療				VIII. 国際貢献									
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
E	E	E	E	E	E	C	C	C	C	D	E	E	E	E	E	E	E	D	D	D	D	D	D	E	E	E	E	C	C	C	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
アセスメント・マップ																																											
① 評価形式ごとの評価割合 (%)																																											
② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)																																											
評価形式																																											
1 定期試験：筆記試験（記述式）	50					a	a	a	a																																		
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	50					a	a	a	a																																		
3 小テスト：筆記試験（記述式）																																											
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																											
5 口頭試験																																											
6 レポート																																											
7 成果発表																																											
8 質問紙法																																											
9 直接観察法（横型または実際の患者）																																											
10 OSCE																																											
11 監査（オーディット）																																											
12 ポートフォリオ																																											
13 自己評価																																											
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																											
合計（100%）	100																																										
目標とする平均点																																											
再試験の回数																																											
授業形態																																											

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スケジュールドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

薬理学	3.5	カリキュラム・マップ
-----	-----	------------

**アセスメント・マップ**

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計(100%)	目標とする平均点	再試験の回数	授業形態	
1 定期試験：筆記試験（記述式）																			
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	90																		
3 小テスト：筆記試験（記述式）																			
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																			
5 口頭試験																			
6 レポート																			
7 成果発表	10																		
8 質問紙法																			
9 直接観察法（横型または実際の患者）																			
10 OSCE																			
11 監査（オーディット）																			
12 ポートフォリオ																			
13 自己評価																			
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																			
合計(100%)	100																		
目標とする平均点		70点																	
再試験の回数		1回																	
授業形態		対面授業科目																	

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー																																																																																			
I. プロフェッショナリズム					II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献																																																
1	医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	2	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	3	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した上で適切に行動できる。	4	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6	人権の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けていく。	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の診断に活用できる。	4	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	5	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に即して正しく実践できる。	5	医療安全、感染症対策を実践できる。	6	災害時の医療について説明できる。	1	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3	最新の情報を探求し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4	指導力及び協働性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法を、研究倫理について説明できる。	5	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3	医療・保健に関わる国際協力への役割を説明できる。	4	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	5	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を修了し、スケジュールドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
生理・薬理学実習	0.5	カリキュラム・マップ

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー																																											
I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識						III. 医療の実践						IV. 問題対応能力				V. コミュニケーション				VI. 科学的探求				VII. 地域医療				VIII. 国際貢献									
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
1 医療倫理及び生命倫理の原則を説明し、具体的な状況に適用できる。	2 法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した上で判断し、行動できる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人倫の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けていく。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の診断に活用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に即して正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重んじることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協働性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための合理的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 フライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解するための重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力への役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	5 国際社会における医学的課題を説明できる。		
D	E	D	E	E	E	B	B	D	B	D	E	E	E	E	E	E	B	B	B	E	D	E	D	E	D	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E		
<b>① 評価形式ごとの評価割合 (%)</b>																																											
<b>② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)</b>																																											
評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計(100%)	目標とする平均点	再試験の回数	授業形態																									
1 定期試験：筆記試験（記述式）																70点	0回	対面授業科目																									
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																											
3 小テスト：筆記試験（記述式）																																											
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																											
5 口頭試験																																											
6 レポート	90																																										
7 成果発表																																											
8 質問紙法																																											
9 直接観察法（横型または実際の患者）																																											
10 OSCE																																											
11 監査（オーディット）																																											
12 ポートフォリオ																																											
13 自己評価																																											
14 その他評価形式が「その他」の場合、内容を記載	10																																										
合計(100%)	100																																										
目標とする平均点															70点																												
再試験の回数															0回																												
授業形態															対面授業科目																												

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スケジュールドクターとして機動的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

凡例	科目名	単位数	学修成果と評価方法
	生化学実習	0.5	カリキュラム・マップ

**アセスメント・マップ**

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計 (100%)	
1	定期試験：筆記試験（記述式）															
2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）															
3	小テスト：筆記試験（記述式）															
4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）															
5	口頭試験															
6	レポート	80														
7	成果発表															
8	質問紙法															
9	直接観察法（横型または実際の患者）															
10	OSCE															
11	監査（オーディット）															
12	ポートフォリオ															
13	自己評価															
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	20	実験態度													

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー																																																																																	
I. プロフェッショナリズム					II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献																																														
1	医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	2	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	3	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した上で判断し、行動できる。	4	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6	人権の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けていく。	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の診断に応用できる。	4	疾病の病因・病態・治療につながる医学的必要性を説明できる。	5	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5	医療安全、感染症対策を実践できる。	6	災害時の医療について説明できる。	1	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重んじることができる。	3	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4	指導力及び協働性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法を、研究倫理について説明できる。	1	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3	フライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3	医療・保健に関わる国際協力への役割を説明できる。	4	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5	国際社会における医学的な課題を説明できる。

目標とする平均点	70点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

**札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシス・コンピテンシー**

凡例	カリキュラム・マップ 区分		I. プロフェッショナリズム																									II. 医学知識																									III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探究					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献						
	高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである	1 医療倫理及び生命倫理の原則を説明し、具体的な状況に適用できる。																									1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。																									1 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。					1 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。					1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。					1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。					1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。					1 国際社会における医学的課題を説明できる。					
		応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スケジュールドクターとして積極的に関与、行動できる	2 法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。																									2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。																									2 臨床情報を整理して臨床推察を行い、診断することが出来る。					2 最新の情報を探求し、問題解決に向けた構想を示すことができる。					2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重んじることが出来る。					2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。					2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。					2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。				
			B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している	3 生及び死に關する倫理的な問題を多角的に認識したうえで実践できる。																									3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。																									3 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。					3 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。					3 科学的思考に基づいた探求心を身につけている。					3 フライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。					3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。									
		基礎 Basic	C	医学生として基礎となる能力を修得している	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚して行動できる。																									4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。																									4 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。					4 問題解決及び課題探究能力を高めるため、1, 2, 3の学習者が重要な役割を担っている。					4 科学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。					4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。					4 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。									
D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない		5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。																									5 疫学・病態・治療につなぐ医学的要素を説明できる。																									5 災害時の医療について説明できる。					5 問題解決及び課題探究能力を高めるため、1, 2, 3, 4の学習者が重要な役割を担っている。					5 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。					5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。					5 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解するための重要性を説明できる。											
	E	経験・修得する機会がない	6 入他の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けている。																									6 疫学・病態・治療につなぐ医学的要素を説明できる。																									6 災害時の医療について説明できる。					6 問題解決及び課題探究能力を高めるため、1, 2, 3, 4, 5の学習者が重要な役割を担っている。					6 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。					6 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。					6 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解するための重要性を説明できる。											

科目名	単位数	学修成果と評価方法
病理学 1	4	カリキュラム・マップ
		アセスメント・マップ
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含まれている項目)
評価形式		
1 定期試験：筆記試験（記述式）	10	
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	80	
3 小テスト：筆記試験（記述式）		
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）		
5 口頭試験		
6 レポート		
7 成果発表		
8 質問紙法		
9 直接観察法（模倣型または実際の患者）		
10 OSCE		
11 監査（オーディット）		
12 ポートフォリオ		
13 自己評価		
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	10	
合計（100%）	100	
目標とする平均点		75点
再試験の回数		1回
授業形態		対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー

I. プロフェッショナリズム	II. 医学知識	III. 医療の実践	IV. 問題対応能力	V. コミュニケーション	VI. 科学的探求	VII. 地域医療	VIII. 国際貢献
1 医療倫理及び生命倫理の原則を説明し、具体的な状況に適用できる。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身振りや振る舞いができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに伴う役割を説明できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解するための重要性を説明できる。
2 法的規範の根拠にある倫理的な考え方を説明できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重んじることができる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	2 社会経済における地域医療の位置づけについて説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身に付けている。
3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した上で論じることができる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	3 科学的思考に基づいた探究心を身に着けている。	3 フライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	3 医療・保健に関わる国際協力への役割を説明できる。
4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に即して正しく実践できる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	4 指導力及び協同性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。
5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	5 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解するための重要性を説明できる。	5 国際社会における医学的な課題を説明できる。
6 人命の尊厳及患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。							

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、シミュレーション・プログラムとして模範的に関与、行動できる
	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
病理学2	2.5	カリキュラム・マップ
		アセスメント・マップ
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)
評価形式		
1 定期試験：筆記試験（記述式）	20	a a a a a
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	50	a a a a a
3 小テスト：筆記試験（記述式）	5	a a a a a
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）		
5 口頭試験		
6 レポート	15	a a a a a
7 成果発表		
8 質問紙法		
9 直接観察法（横型または実際の患者）		
10 OSCE		
11 監査（オーディット）		
12 ポートフォリオ		
13 自己評価		
14 その他評価形式が「その他」の場合、内容を記載	10	b b b b c
合計（100%）	100	
目標とする平均点		70点
再試験の回数		1回
授業形態		対面授業科目

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、シミュレーション・シナリオとして模範的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

微生物学	4	カリキュラム・マップ アセスメント・マップ ① 評価形式ごとの評価割合 (%) ② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価形式</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> <th>13</th> <th>14</th> <th>合計(100%)</th> <th>目標とする平均点</th> <th>再試験の回数</th> <th>授業形態</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 定期試験:筆記試験(記述式)</td> <td>40</td> <td></td> <td>75点</td> <td>1回</td> <td>対面授業科目</td> </tr> <tr> <td>2 定期試験:筆記試験(多肢選択式)</td> <td>42</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3 小テスト:筆記試験(記述式)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4 小テスト:筆記試験(多肢選択式)</td> <td>5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5 口頭試験</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6 レポート</td> <td>8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7 成果発表</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8 質問紙法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9 直接観察法(横型または実演の患者)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10 OSCE</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11 監査(オーディット)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12 ポートフォリオ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>13 自己評価</td> <td></td> </tr> <tr> <td>14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載</td> <td>5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計(100%)</td> <td>100</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計(100%)	目標とする平均点	再試験の回数	授業形態	1 定期試験:筆記試験(記述式)	40																75点	1回	対面授業科目	2 定期試験:筆記試験(多肢選択式)	42																			3 小テスト:筆記試験(記述式)																				4 小テスト:筆記試験(多肢選択式)	5																			5 口頭試験																				6 レポート	8																			7 成果発表																				8 質問紙法																				9 直接観察法(横型または実演の患者)																				10 OSCE																				11 監査(オーディット)																				12 ポートフォリオ																				13 自己評価																				14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	5																			合計(100%)	100																		
評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計(100%)	目標とする平均点	再試験の回数	授業形態																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
1 定期試験:筆記試験(記述式)	40																75点	1回	対面授業科目																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
2 定期試験:筆記試験(多肢選択式)	42																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
3 小テスト:筆記試験(記述式)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
4 小テスト:筆記試験(多肢選択式)	5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
5 口頭試験																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
6 レポート	8																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
7 成果発表																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
8 質問紙法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
9 直接観察法(横型または実演の患者)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
10 OSCE																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
11 監査(オーディット)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
12 ポートフォリオ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
13 自己評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
合計(100%)	100																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー																																										
I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力				V. コミュニケーション				VI. 科学的探究			VII. 地域医療			VIII. 国際貢献												
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5				
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した上で適切に行動できる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人倫の尊厳及患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けていく。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の診断に応用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に即して正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を實踐できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決及び課題探究能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協力をもち、診療や保健指導の基礎を實踐できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法を、研究倫理について説明できる。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 フライマリ・ケアを實踐するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を實踐できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の實踐に配慮できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って實踐する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力への役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な課題を説明できる。

E	E	E	E	E	E	C	C	D	D	D	D	D	C	E	C	E	C	D	D	E	C	D	E	D	E	D	C	D	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スケジュールドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
基礎看護学	1	カリキュラム・マップ

I. プロフェッショナリズム	II. 医学知識	III. 医療の実践	IV. 問題対応能力	V. コミュニケーション	VI. 科学的探求	VII. 地域医療	VIII. 国際貢献
1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解するための重要性を説明できる。
2 法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	2 社会経済における地域医療の位置づけについて説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。
3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した上で判断できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の診断に活用できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	3 最新の情報を探求し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	3 フライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	3 医療・保健に関わる国際協力への役割を説明できる。
4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に即して正しく実践できる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	4 指導力及び協働性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法を、研究倫理について説明できる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	4 医療・保健に関する国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。
5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	5 医療関係者や患者のニーズを把握し、対応可能な範囲で対応できる。	5 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	5 国際社会における医学的な課題を説明できる。
6 入退の尊厳及患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	6 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	6 災害時の医療について説明できる。	6 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	6 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	6 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	6 地域医療の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	6 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解するための重要性を説明できる。

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含まれている項目)

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計 (100%)
1 定期試験：筆記試験（記述式）	20														
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	60														
3 小テスト：筆記試験（記述式）															
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）															
5 口頭試験															
6 レポート	20														
7 成果発表															
8 質問紙法															
9 直接観察法（横型または実際の患者）															
10 OSCE															
11 監査（オーディット）															
12 ポートフォリオ															
13 自己評価															
14 その他評価形式が「その他」の場合、内容を記載															
合計 (100%)	100														

目標とする平均点	75点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スケジュールドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法	
微生物学実習	0.5	カリキュラム・マップ	
		アセスメント・マップ	
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)	
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含まれている項目)	
		評価形式	
		1 定期試験：筆記試験（記述式）	
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	
		3 小テスト：筆記試験（記述式）	
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）	
		5 口頭試験	
		6 レポート	60
		7 成果発表	
		8 質問紙法	
		9 直接観察法（横断または実際の患者）	
		10 OSCE	
11 監査（オーディット）			
12 ポートフォリオ			
13 自己評価			
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	40		
合計（100%）	100		
目標とする平均点	80点		
再試験の回数	0回		
授業形態	対面授業科目		

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー																																																																																	
I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力				V. コミュニケーション			VI. 科学的探求			VII. 地域医療			VIII. 国際貢献																																																				
1	医療倫理及び生命倫理の原則を説明し、具体的な状況に適用できる。	2	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	3	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した上で判断し、行動できる。	4	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6	人倫の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けていく。	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の診断に活用できる。	4	疾病の病因・病態・治療につながる医学的必要性を説明できる。	5	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に即して正しく実践できる。	5	医療安全、感染症対策を実践できる。	6	災害時の医療について説明できる。	1	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3	最新の情報を探求し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重んじることができる。	3	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4	指導力及び協働性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法を、研究倫理について説明できる。	1	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3	フライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解するための重要性を説明できる。	2	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3	医療・保健に関わる国際協力への役割を説明できる。	4	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	5	国際社会における医学的課題を説明できる。

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スケジュールドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

感染症学	2	カリキュラム・マップ
		アセスメント・マップ
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)
評価形式		
1 定期試験：筆記試験（記述式）		
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	90	a a a a a a a
3 小テスト：筆記試験（記述式）		
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）		
5 口頭試験		
6 レポート		
7 成果発表		
8 質問紙法		
9 直接観察法（横型または実際の患者）		
10 OSCE		
11 監査（オーディット）		
12 ポートフォリオ		
13 自己評価		
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	10	
合計（100%）	100	
目標とする平均点		75点
再試験の回数		1回
授業形態		対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー																																											
I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識						III. 医療の実践						IV. 問題対応能力				V. コミュニケーション				VI. 科学的探求				VII. 地域医療				VIII. 国際貢献									
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
E	E	E	E	E	E	C	C	C	C	D	C	C	C	C	C	D	E	E	E	D	E	E	E	E	E	E	E	D	D	D	D	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
アセスメント・マップ																																											
① 評価形式ごとの評価割合 (%)																																											
② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)																																											
評価形式																																											
1 定期試験：筆記試験（記述式）																																											
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	90					a	a	a	a	a	a	a	a	a	a																												
3 小テスト：筆記試験（記述式）																																											
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																											
5 口頭試験																																											
6 レポート																																											
7 成果発表																																											
8 質問紙法																																											
9 直接観察法（横型または実際の患者）																																											
10 OSCE																																											
11 監査（オーディット）																																											
12 ポートフォリオ																																											
13 自己評価																																											
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	10																																										
合計（100%）	100																																										
目標とする平均点																																											
再試験の回数																																											
授業形態																																											

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修終了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、シミュレーション・デモトクターと連携した模範的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
医学英語3	0.5	カリキュラム・マップ
		アセスメント・マップ
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)
評価形式		
1 定期試験：筆記試験（記述式）		
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）		
3 小テスト：筆記試験（記述式）		
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）		
5 口頭試験		
6 レポート	10	a
7 成果発表	70	a
8 質問紙法		
9 直接観察法（模型または実際の患者）		
10 OSCE		
11 監査（オーディット）		
12 ポートフォリオ		
13 自己評価		
14 その他評価形式が「その他」の場合、内容を記載	20 学習態度	a a
合計（100%）	100	

目標とする平均点	80点
再試験の回数	0回
授業形態	対面授業科目

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識		III. 医療の実践		IV. 問題対応能力		V. コミュニケーション		VI. 科学的探求		VII. 地域医療		VIII. 国際貢献	
1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	E	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	C	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	E	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	E	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	E	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	E	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	E	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	C
2 法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	E	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	E	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	E	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	E	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることがができる。	E	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	E	2 地域社会における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	E	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	C
3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	E	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	E	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができ。	E	3 最新の情報を探求し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	E	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	E	3 科学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	E	3 地域社会における医療の位置付けについて説明できる。	E	3 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	C
4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	E	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	E	4 病歴に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	E	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	E	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	E	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	E	4 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	E	4 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	C
5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	E	5 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	E	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	E	5 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	E	5 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	E	5 科学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	E	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	E	5 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	C
6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	E	6 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	E	6 災害時の医療について説明できる。	E	6 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	E	6 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることがができる。	E	6 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	E	6 地域社会における医療の位置付けについて説明できる。	E	6 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	C

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修終了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、アセスメントドクターとして規範的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
医学概論・医療総論3	0.5	カリキュラム・マップ アセスメント・マップ
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)
評価形式		
1 定期試験：筆記試験（記述式）		
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）		
3 小テスト：筆記試験（記述式）		
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）		
5 口頭試験		
6 レポート	30	c c c c c
7 成果発表	20	
8 質問紙法		
9 直接観察法（模型または実際の患者）	50	a
10 OSCE		
11 監査（オーディット）		
12 ポートフォリオ		
13 自己評価		
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載		
合計（100%）	100	

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識		III. 医療の実践		IV. 問題対応能力		V. コミュニケーション		VI. 科学的探求		VII. 地域医療		VIII. 国際貢献	
1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。		1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。		1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。		1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。		1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。		1 地域社会における健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。		1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。		1 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。	
2 法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。		2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。		2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。		2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。		2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。		2 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。		2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。		2 成学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	
3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した上振る舞いができる。		3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。		3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。		3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。		3 医学チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。		3 科学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。		3 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。		3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	
4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。		4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。		4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。		4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。		4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。		4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。		4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。		4 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	
5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。		5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。		5 医療安全、感染症対策を実践できる。		5 問題解決の方向性、関連する情報を収集して分析できる。		5 幅広い価値観や社会的背景が多様であることを理解し、特に他者に敬慮を払って接することができる。		5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。		5 地域医療における健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。		5 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	
6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。		6 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。		6 災害時の医療について説明できる。		6 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。		6 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。		6 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。		6 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。		6 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	

目標とする平均点	80点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スケジュールドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
E 経験・修得する機会がない	

凡例	
----	--

科目名	単位数	学修成果と評価方法
地域医療 合同セミナー③	1	<b>カリキュラム・マップ</b> <b>アセスメント・マップ</b> ① 評価形式ごとの評価割合 (%) ② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識				III. 医療の実践				IV. 問題対応能力				V. コミュニケーション				VI. 科学的探求				VII. 地域医療				VIII. 国際貢献			
1	医療倫理及び生命倫理の原則を説明し、具体的な状況に適用できる。	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	1	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	1	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	1	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	1	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	1	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに伴って果たすべき役割を説明できる。	1	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	1	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法を説明できる。	1	地域の事例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	1	国際社会における医学的課題を説明できる。	1	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。				
2	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	2	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	2	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	2	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	2	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることが出来る。	2	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	2	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	2	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2	科学的知見を獲得するための科学的な理論や方法を説明できる。	2	地域の事例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	2	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	2	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。						
3	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した上で適切に行動できる。	3	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の診断に活用できる。	3	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	3	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	3	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることが出来る。	3	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	3	科学的知見を獲得するための科学的な理論や方法を説明できる。	3	地域の事例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	3	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。						
4	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	4	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の診断に活用できる。	4	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	4	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることが出来る。	4	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	4	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	4	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	4	科学的知見を獲得するための科学的な理論や方法を説明できる。	4	地域の事例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	4	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	4	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。						
5	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	5	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の診断に活用できる。	5	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	5	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	5	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることが出来る。	5	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	5	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	5	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	5	科学的知見を獲得するための科学的な理論や方法を説明できる。	5	地域の事例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	5	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	5	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。						
6	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	6	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の診断に活用できる。	6	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	6	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	6	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることが出来る。	6	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	6	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	6	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	6	科学的知見を獲得するための科学的な理論や方法を説明できる。	6	地域の事例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	6	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	6	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。						
7	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	7	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の診断に活用できる。	7	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	7	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	7	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることが出来る。	7	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	7	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	7	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	7	科学的知見を獲得するための科学的な理論や方法を説明できる。	7	地域の事例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	7	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	7	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。						
8	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	8	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の診断に活用できる。	8	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	8	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	8	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることが出来る。	8	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	8	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	8	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	8	科学的知見を獲得するための科学的な理論や方法を説明できる。	8	地域の事例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	8	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	8	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。						
9	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	9	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の診断に活用できる。	9	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	9	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	9	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることが出来る。	9	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	9	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	9	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	9	科学的知見を獲得するための科学的な理論や方法を説明できる。	9	地域の事例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	9	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	9	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。						
10	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	10	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の診断に活用できる。	10	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	10	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	10	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることが出来る。	10	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	10	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	10	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	10	科学的知見を獲得するための科学的な理論や方法を説明できる。	10	地域の事例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	10	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	10	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。						
11	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	11	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の診断に活用できる。	11	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	11	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	11	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることが出来る。	11	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	11	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	11	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	11	科学的知見を獲得するための科学的な理論や方法を説明できる。	11	地域の事例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	11	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	11	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。						
12	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	12	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の診断に活用できる。	12	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	12	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	12	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることが出来る。	12	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	12	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	12	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	12	科学的知見を獲得するための科学的な理論や方法を説明できる。	12	地域の事例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	12	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	12	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。						
13	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	13	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の診断に活用できる。	13	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	13	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	13	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることが出来る。	13	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	13	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	13	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	13	科学的知見を獲得するための科学的な理論や方法を説明できる。	13	地域の事例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	13	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	13	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。						
14	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	14	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の診断に活用できる。	14	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	14	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	14	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることが出来る。	14	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	14	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	14	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	14	科学的知見を獲得するための科学的な理論や方法を説明できる。	14	地域の事例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	14	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	14	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。						
合計(100%)		100																											
目標とする平均点		80点																											
再試験の回数		1回																											
授業形態		対面授業科目																											

目標とする平均点	80点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を修了し、スケジュール Doktor として機動的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
E 経験・修得する機会がない	

凡例	科目名	単位数	学修成果と評価方法
	医療行動科学3	0.5	カリキュラム・マップ
			アセスメント・マップ
			① 評価形式ごとの評価割合 (%)
			② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含まれている項目)
	評価形式		
	1 定期試験：筆記試験（記述式）		
	2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）		
	3 小テスト：筆記試験（記述式）		
	4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）		
	5 口頭試験		
	6 レポート	100	a a a a a a a a a a a
	7 成果発表		
	8 質問紙法		
	9 直接観察法（横型または実際の患者）		
	10 OSCE		
	11 監査（オーディット）		
	12 ポートフォリオ		
	13 自己評価		
	14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載		
	合計（100%）	100	

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー																																									
I. プロフェッショナリズム					II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力				V. コミュニケーション			VI. 科学的探求			VII. 地域医療		VIII. 国際貢献														
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	4	5						
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識したうえで判断できる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	入国の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に应用到できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的必要性を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に即して正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探求し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決及び課題探求能力を高めるため、生涯学習が重要であることを説明できる。	1人及び礼節を重んじ、相手の身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重んじることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協同性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	科学的思考に基づいた探究心を身につけていく。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに伴って果たすべき役割を説明できる。	2社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3フライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身に付けていく。	3医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に应用到できる。	5国際社会における医学的な課題を説明できる。

目標とする平均点	80点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を修了し、シミュレーション・シナリオとして模範的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
医療統計学1	0.5	カリキュラム・マップ
		アセスメント・マップ
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)
評価形式		
1 定期試験：筆記試験（記述式）		
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）		
3 小テスト：筆記試験（記述式）	25	b a
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）		
5 口頭試験		
6 レポート	75	a a
7 成果発表		
8 質問紙法		
9 直接観察法（横断または実際の患者）		
10 OSCE		
11 監査（オーディット）		
12 ポートフォリオ		
13 自己評価		
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載		
合計（100%）	100	

目標とする平均点	75点
再試験の回数	0回
授業形態	対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー																																											
I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識						III. 医療の実践						IV. 問題対応能力				V. コミュニケーション				VI. 科学的探求				VII. 地域医療				VIII. 国際貢献									
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
D	D	D	D	D	C	C	C	D	C	C	E	E	E	D	D	D	D	C	C	D	E	E	E	E	E	E	E	C	D	D	D	D	D	E	E	E	D	D	D	C	D		
アセスメント・マップ																																											
① 評価形式ごとの評価割合 (%)																																											
② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)																																											
評価形式																																											
1 定期試験：筆記試験（記述式）																																											
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																											
3 小テスト：筆記試験（記述式）	25									b	a																																b
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																											
5 口頭試験																																											
6 レポート	75				a	a	a																																				
7 成果発表																																											
8 質問紙法																																											
9 直接観察法（横断または実際の患者）																																											
10 OSCE																																											
11 監査（オーディット）																																											
12 ポートフォリオ																																											
13 自己評価																																											
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																											
合計（100%）	100																																										

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修終了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、アセスメントとワークシートを模範的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
遺伝医学	1	カリキュラム・マップ アセスメント・マップ
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)
評価形式		
1 定期試験：筆記試験（記述式）	80	a a a a a b b c c c c c c c c
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）		
3 小テスト：筆記試験（記述式）		
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）		
5 口頭試験		
6 レポート	10	b c c c c c c c c c c c c c c
7 成果発表	10	c a a a c c c c c c c c c c
8 質問紙法		
9 直接観察法（模型または実際の患者）		
10 OSCE		
11 監査（オーディット）		
12 ポートフォリオ		
13 自己評価		
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載		
合計（100%）	100	

目標とする平均点	80点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識		III. 医療の実践		IV. 問題対応能力		V. コミュニケーション		VI. 科学的探求		VII. 地域医療		VIII. 国際貢献	
1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	B	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	C	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	C	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	B	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	B	1 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	D	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	D	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
2 法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	C	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	C	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	D	2 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	C	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	C	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	2 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	D	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	D	4 成学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。
3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した上振る舞いができる。	B	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	B	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	D	3 問題解決のための理想を科学的根拠に基づいて実行できる。	C	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	C	3 科学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	3 フライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	D	3 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	D	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。
4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	B	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	B	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	D	4 問題解決の過程を科学的根拠に基づいて実行できる。	C	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	C	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	4 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	D	4 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	D	4 成学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。
5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	C	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	C	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	E	5 問題解決の過程を科学的根拠に基づいて実行できる。	C	5 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	C	5 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	D	5 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	D	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	B	6 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	C	6 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	C	6 問題解決の過程を科学的根拠に基づいて実行できる。	C	6 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	C	6 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	6 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	D	6 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	D	6 成学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修終了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、アセスメントドクターとして規範的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法	
病理学実習	2	<b>カリキュラム・マップ</b>	
		<b>B</b>	
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)	
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)	
		1 定期試験：筆記試験 (記述式)	20
		2 定期試験：筆記試験 (多肢選択式)	
		3 小テスト：筆記試験 (記述式)	5
		4 小テスト：筆記試験 (多肢選択式)	5
		5 口頭試験	
		6 レポート	60
		7 成果発表	
		8 質問紙法	
		9 直接観察法 (模型または実際の患者)	
		10 OSCE	
11 監査 (オーディット)			
12 ポートフォリオ			
13 自己評価			
14 その他 実習態度、コミュニケーション、身なり等を観察評価	10		
合計 (100%)	100		

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識		III. 医療の実践		IV. 問題対応能力		V. コミュニケーション		VI. 科学的探求		VII. 地域医療		VIII. 国際貢献					
1	医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に適用できる。	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	1	人間の尊厳及び患者の立場を尊重し、思いやりのある態度を身に蓄積している。	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	1	先駆的な医学研究が社会全体の幸福につながることを説明できる。	1	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	1	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	1	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。				
2	法的規範の根拠となる倫理的考え方を説明できる。	2	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	2	病歴の尊厳及び患者の立場を尊重し、思いやりのある態度を身に蓄積している。	2	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	2	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ、	2	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	2	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	2	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2	成学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。		
3	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	3	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	3	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	3	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	3	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	3	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した実践に配慮できる。	3	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	3	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。		
4	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	4	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	4	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	4	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	4	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	4	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	4	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	4	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を提供できる。	4	地域社会における医療の位置付けについて説明できる。	4	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。
5	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	5	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	5	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	5	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	5	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した実践に配慮できる。	5	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を提供できる。	5	地域社会における医療の位置付けについて説明できる。	5	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。
6	人間の尊厳及び患者の立場を尊重し、思いやりのある態度を身に蓄積している。	6	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	6	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	6	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	6	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	6	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	6	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した実践に配慮できる。	6	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を提供できる。	6	地域社会における医療の位置付けについて説明できる。	6	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。

目標とする平均点	80点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修終了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、ステーション・シフトワークとして規範的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
研究室(基礎)配属	4.5	カリキュラム・マップ
		アセスメント・マップ
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)
		1 定期試験：筆記試験(記述式)
		2 定期試験：筆記試験(多肢選択式)
		3 小テスト：筆記試験(記述式)
		4 小テスト：筆記試験(多肢選択式)
		5 口頭試験
		6 レポート
		7 成果発表
		8 質問紙法
		9 直接観察法(模型または実際の患者)
		10 OSCE
11 監査(オーディット)		
12 ポートフォリオ		
13 自己評価		
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載		
合計(100%)	100	

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識						III. 医療の実践						IV. 問題対応能力						V. コミュニケーション						VI. 科学的探求						VII. 地域医療						VIII. 国際貢献																																																											
1	医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	1	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	1	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	1	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	1	地域社会における健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	1	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。	2	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	2	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	2	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	2	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	2	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	2	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	2	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	3	3年及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した上振る舞いができる。	3	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に蓄積している。	3	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	3	医療安全、感染症対策を実践できる。	3	規範関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることがができる。	3	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	3	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	3	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	4	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	4	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の病態に際して用いることができる。	4	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	4	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	4	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	4	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	4	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	5	5人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	5	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	5	1礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	5	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	5	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5	地域経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	5	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	5	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	6	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に蓄積している。	6	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	6	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	6	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	6	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	6	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	6	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。

目標とする平均点	75点
再試験の回数	0回
授業形態	対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スケジュールドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法	
内分泌・代謝病学	1	カリキュラム・マップ	
		アセスメント・マップ	
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)	
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)	
		評価形式	
		1 定期試験：筆記試験（記述式）	
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	100
		3 小テスト：筆記試験（記述式）	
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）	
		5 口頭試験	
		6 レポート	
		7 成果発表	
		8 質問紙法	
		9 直接観察法（横型または実際の患者）	
10 OSCE			
11 監査（オーディット）			
12 ポートフォリオ			
13 自己評価			
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載			
合計（100%）	100		

目標とする平均点	70点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識		III. 医療の実践		IV. 問題対応能力		V. コミュニケーション		VI. 科学的探求		VII. 地域医療		VIII. 国際貢献	
1	医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	1	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	1	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	1	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	1	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	1	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	1	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。
2	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	2	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	2	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	2	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	2	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	2	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身に付けている。	2	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。
3	生及び死に隣り合う倫理的な問題を多角的に認識した指を辨いことができる。	3	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の説明に活用できる。	3	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	3	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	3	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3	科学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	3	地域医療の中で国際化に關する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	3	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。
4	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	4	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	4	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	4	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	4	医療安全、感染症対策を実践できる。	4	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	4	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	4	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。
5	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	5	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	5	災害時の医療について説明できる。	5	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	5	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	5	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	5	地域医療の中で国際化に關する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	5	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。
6	人命の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	6	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	6	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	6	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	6	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	6	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	6	地域医療の中で国際化に關する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	6	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。
7	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	7	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	7	災害時の医療について説明できる。	7	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	7	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	7	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	7	地域医療の中で国際化に關する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	7	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。
8	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	8	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	8	災害時の医療について説明できる。	8	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	8	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	8	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	8	地域医療の中で国際化に關する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	8	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。
9	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	9	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	9	災害時の医療について説明できる。	9	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	9	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	9	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	9	地域医療の中で国際化に關する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	9	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。
10	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	10	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	10	災害時の医療について説明できる。	10	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	10	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	10	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	10	地域医療の中で国際化に關する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	10	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。
11	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	11	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	11	災害時の医療について説明できる。	11	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	11	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	11	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	11	地域医療の中で国際化に關する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	11	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。
12	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	12	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	12	災害時の医療について説明できる。	12	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	12	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	12	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	12	地域医療の中で国際化に關する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	12	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。
13	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	13	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	13	災害時の医療について説明できる。	13	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	13	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	13	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	13	地域医療の中で国際化に關する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	13	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。
14	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	14	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	14	災害時の医療について説明できる。	14	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	14	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	14	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	14	地域医療の中で国際化に關する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	14	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修終了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、アセスメントドクターとして規範的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
血液学	0.5	カリキュラム・マップ アセスメント・マップ
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)
評価形式		
1 定期試験：筆記試験（記述式）		
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	100	a a a
3 小テスト：筆記試験（記述式）		
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）		
5 口頭試験		
6 レポート		
7 成果発表		
8 質問紙法		
9 直接観察法（模型または実際の患者）		
10 OSCE		
11 監言（オーディット）		
12 ポートフォリオ		
13 自己評価		
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載		
合計（100%）	100	

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識		III. 医療の実践		IV. 問題対応能力		V. コミュニケーション		VI. 科学的探求		VII. 地域医療		VIII. 国際貢献	
1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	C	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	B	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	C	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	C	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	C	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	E	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	E	1 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。	C
2 法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	C	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	B	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	C	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	C	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	C	2 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	E	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	D	2 成学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	E
3 生及び死に関わる倫理的な問題を多面的に認識した上、振る舞いができる。	B	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	B	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	C	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	C	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	C	3 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	E	3 国際交流に関わる国際協力の役割を説明できる。	D	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	E
4 人の命及び健康を守る医師の使命と責務を自覚し行動できる。	B	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	B	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	C	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	C	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	D	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	E	4 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	D	4 成学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	E
5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	C	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	B	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	D	5 問題解決の目的を明確にし、相応しい身振りや振る舞いができる。	C	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、特に他者との協力を払って接することができる。	D	5 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	D	5 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	E	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。	C
6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	C	6 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	B	6 災害時の医療について説明できる。	E	6 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	C	6 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	C	6 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	E	6 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	D	6 成学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	E

目標とする平均点	70点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修終了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、アセスメントドクターとして規範的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法	
消化器内科学	2	カリキュラム・マップ	
		アセスメント・マップ	
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)	
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)	
		評価形式	
		1 定期試験：筆記試験（記述式）	
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	100
		3 小テスト：筆記試験（記述式）	
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）	
		5 口頭試験	
		6 レポート	
		7 成果発表	
		8 質問紙法	
		9 直接観察法（模型または実際の患者）	
10 OSCE			
11 監査（オーディット）			
12 ポートフォリオ			
13 自己評価			
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載			
合計（100%）	100		

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識		III. 医療の実践		IV. 問題対応能力		V. コミュニケーション		VI. 科学的探求		VII. 地域医療		VIII. 国際貢献	
1	医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に適用できる。	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	1	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	1	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	1	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	1	先駆的な医学研究が社会全体の幸福につながることを説明できる。	1	地域社会における健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	1	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。
2	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	2	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	2	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	2	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	2	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることがができる。	2	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	2	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。
3	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	3	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	3	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができ。	3	最新の情報を探求し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	3	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	3	科学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	3	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した実践に配慮できる。	3	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。
4	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	4	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	4	臨床情報に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	4	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	4	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	4	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	4	地域医療の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	4	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。
5	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	5	社会医学の知識を有し活用できる。	5	医療安全、感染症対策を実践できる。	5	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5	患者及びその家族と対話を重ねることがができる。	5	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	5	地域医療の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	5	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。
6	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	6	生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	6	災害時の医療について説明できる。	6	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	6	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることがができる。	6	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	6	地域医療の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	6	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。

目標とする平均点	70点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修終了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、アセスメントドクターとして規範的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
免疫・アレルギー疾患	1	カリキュラム・マップ
		アセスメント・マップ
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)
		1 定期試験：筆記試験（記述式）
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）
		3 小テスト：筆記試験（記述式）
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）
		5 口頭試験
		6 レポート
		7 成果発表
		8 質問紙法
		9 直接観察法（模型または実際の患者）
		10 OSCE
11 監言（オーディット）		
12 ポートフォリオ		
13 自己評価		
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載		
合計（100%）	100	

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識						III. 医療の実践						IV. 問題対応能力			V. コミュニケーション			VI. 科学的探求			VII. 地域医療			VIII. 国際貢献																																																																			
1	医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	1	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	1	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	1	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	1	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	1	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	1	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	2	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	2	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	2	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	2	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	2	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	2	地域医療における国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	2	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	3	患者及びその家族と対話を重ねるることができる。	3	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	3	地域社会における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	3	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	3	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	4	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	4	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	4	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	4	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	4	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	4	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	4	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	5	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	5	医療安全、感染症対策を実践できる。	5	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	5	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	5	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	5	地域医療における国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	5	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	5	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	6	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	6	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	6	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	6	患者及びその家族と対話を重ねるることができる。	6	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	6	地域社会における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	6	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	6	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。

目標とする平均点	75点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スケジュールドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

呼吸器病学	1.5	カリキュラム・マップ	
		アセスメント・マップ	
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)	
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)	
		評価形式	
		1 定期試験：筆記試験（記述式）	
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	90
		3 小テスト：筆記試験（記述式）	
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）	
		5 口頭試験	
		6 レポート	
		7 成果発表	
		8 質問紙法	
		9 直接観察法（横型または実際の患者）	
		10 OSCE	
11 監査（オーディット）			
12 ポートフォリオ			
13 自己評価			
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	10		
合計（100%）	100		

目標とする平均点	75点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー																																																	
I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識						III. 医療の実践						IV. 問題対応能力						V. コミュニケーション					VI. 科学的探求				VII. 地域医療			VIII. 国際貢献													
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
E	E	E	E	E	E	C	C	C	C	C	D	C	C	C	C	D	E	E	E	E	D	E	E	E	E	D	D	D	D	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E					

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修終了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、学生・デパートクォーターで規範的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
医識病学	0.5	カリキュラム・マップ
		アセスメント・マップ
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)
		1 定期試験：筆記試験 (記述式)
		2 定期試験：筆記試験 (多肢選択式)
		3 小テスト：筆記試験 (記述式)
		4 小テスト：筆記試験 (多肢選択式)
		5 口頭試験
		6 レポート
		7 成果発表
		8 質問紙法
		9 直接観察法 (模型または実際の患者)
		10 OSCE
11 監査 (オーディット)		
12 ポートフォリオ		
13 自己評価		
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載		
合計 (100%)	100	

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識		III. 医療の実践		IV. 問題対応能力		V. コミュニケーション		VI. 科学的探求		VII. 地域医療		VIII. 国際貢献	
1	医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	1	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	1	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	1	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	1	先駆的な医学研究が社会全体の幸福につながることを説明できる。	1	地域社会における医療の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	1	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。
2	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	2	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	2	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	2	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	2	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることがができる。	2	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	2	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。
3	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	3	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	3	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができ。	3	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	3	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	3	科学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	3	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	3	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。
4	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	4	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	4	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	4	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	4	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	4	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	4	地域医療の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	4	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。
5	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	5	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	5	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	5	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	5	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	5	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。
6	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	6	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	6	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	6	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	6	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	6	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	6	地域医療の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	6	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。

目標とする平均点	70点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修終了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、アセスメント・トーカーとして規範的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法	
神経内科学	1	カリキュラム・マップ	
		アセスメント・マップ	
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)	
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)	
		評価形式	
		1 定期試験：筆記試験（記述式）	
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	95
		3 小テスト：筆記試験（記述式）	
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）	
		5 口頭試験	
		6 レポート	
		7 成果発表	
		8 質問紙法	
		9 直接観察法（模型または実際の患者）	
10 OSCE			
11 監査（オーディット）			
12 ポートフォリオ			
13 自己評価			
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	5		
合計（100%）	100		

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識						III. 医療の実践						IV. 問題対応能力						V. コミュニケーション						VI. 科学的探求						VII. 地域医療						VIII. 国際貢献																																					
1	医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の診断に活用できる。	4	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	5	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5	医療安全、感染症対策を実践できる。	6	災害時の医療について説明できる。	1	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身振りと振る舞いができる。	2	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることがができる。	3	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、特に他者に敬重を払って接することができる。	1	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2	地域社会における地域医療の位置付けについて説明できる。	3	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4	成学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	5	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。

目標とする平均点	80点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修終了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、ステートメントとして規範的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
循環器内科学	1.5	カリキュラム・マップ
		アセスメント・マップ
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)
		1 定期試験：筆記試験（記述式）
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）
		3 小テスト：筆記試験（記述式）
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）
		5 口頭試験
		6 レポート
		7 成果発表
		8 質問紙法
		9 直接観察法（模型または実際の患者）
		10 OSCE
11 監査（オーディット）		
12 ポートフォリオ		
13 自己評価		
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載		
合計（100%）	100	

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識		III. 医療の実践		IV. 問題対応能力		V. コミュニケーション		VI. 科学的探求		VII. 地域医療		VIII. 国際貢献	
1	医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	1	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	1	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	1	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	1	先駆的な医学研究が社会全体の幸福につながることを説明できる。	1	地域社会における健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	1	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。
2	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	2	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	2	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	2	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	2	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることがができる。	2	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を築ける。	2	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。
3	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	3	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	3	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができ。	3	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	3	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	3	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	3	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。
4	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	4	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	4	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	4	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	4	1礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	4	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	4	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	4	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。
5	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	5	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	5	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	5	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を築ける。	5	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	5	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	5	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。
6	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	6	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	6	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	6	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	6	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることがができる。	6	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	6	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	6	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。

目標とする平均点	70点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目



札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修終了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、ステートメントとして規範的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法	
放射線診断・核医学	0.5	カリキュラム・マップ	
		アセスメント・マップ	
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)	
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)	
		評価形式	
		1 定期試験：筆記試験（記述式）	
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	95
		3 小テスト：筆記試験（記述式）	
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）	
		5 口頭試験	
		6 レポート	
		7 成果発表	
		8 質問紙法	
		9 直接観察法（模型または実際の患者）	
10 OSCE			
11 監査（オーディット）			
12 ポートフォリオ			
13 自己評価			
14 その他（授業態度、発表内容等）	5		
合計（100%）	100		

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識		III. 医療の実践		IV. 問題対応能力		V. コミュニケーション		VI. 科学的探求		VII. 地域医療		VIII. 国際貢献	
1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	D	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	C	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	E	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	E	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	E	1 先駆的な医学研究が社会全体の幸福につながることを説明できる。	E	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	E	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	E
2 法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	E	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	C	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	D	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	E	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることがができる。	E	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	E	2 地域社会における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	E	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	E
3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	E	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	C	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができ。	C	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	E	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	E	3 科学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	E	3 フライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	E	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	E
4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	E	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	C	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	E	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	E	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	E	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	E	4 地域における医療の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	E	4 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	E
5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	E	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	C	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	E	5 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	E	5 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	E	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	E	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	E	5 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	E
6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重し思いやりのある態度を身に付けている。	E	6 疫学・公衆衛生・治療に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	C	6 災害時の医療について説明できる。	E	6 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	E	6 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることがができる。	E	6 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	E	6 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	E	6 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	E

目標とする平均点	80点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を修了し、シミュレーション・シナリオとして模範的に聞き、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法	
		カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ
皮膚科学	1	カリキュラム・マップ	E
		アセスメント・マップ	E
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)	
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)	
		評価形式	
		1 定期試験：筆記試験（記述式）	
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	95
		3 小テスト：筆記試験（記述式）	
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）	
		5 口頭試験	
		6 レポート	
		7 成果発表	
		8 質問紙法	
		9 直接観察法（横型または実際の患者）	
10 OSCE			
11 監査（オーディット）			
12 ポートフォリオ			
13 自己評価			
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載し出席状況を考慮し決定	5		
合計（100%）	100		

目標とする平均点	70点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー																																											
I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識				III. 医療の実践				IV. 問題対応能力				V. コミュニケーション				VI. 科学的探求				VII. 地域医療				VIII. 国際貢献													
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
E	E	E	E	E	E	C	C	C	C	E	D	E	E	E	E	E	E	E	E	D	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修終了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、アセスメントドクターとして規範的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

小児科学 2.5

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識			III. 医療の実践			IV. 問題対応能力			V. コミュニケーション			VI. 科学的探求			VII. 地域医療			VIII. 国際貢献		
1	医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	1	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	1	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	1	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	1	地域の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	1	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。									
2	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	2	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	2	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	2	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	2	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	2	地域社会における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	2	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立つて実践する基礎的能力を身につけている。									
3	生及び死に関わる倫理的な問題を多面的に認識したうえで判断ができる。	3	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	3	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	3	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	3	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	3	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3	医学・疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。									
4	人の命及び健康を守る医師の使命と責務を自覚し行動できる。	4	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	4	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	4	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	4	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	4	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	4	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。									
5	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	5	基礎医学、臨床医学、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	5	医療安全、感染症対策を実践できる。	5	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5	地域社会における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立つて実践する基礎的能力を身につけている。									
6	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	6	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	6	災害時の医療について説明できる。	6	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	6	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	6	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	6	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。									

カリキュラム・マップ

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

評価形式	割合 (%)
1 定期試験：筆記試験（記述式）	
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	100
3 小テスト：筆記試験（記述式）	
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）	
5 口頭試験	
6 レポート	
7 成果発表	
8 質問紙法	
9 直接観察法（模型または実際の患者）	
10 OSCE	
11 監言（オーディット）	
12 ポートフォリオ	
13 自己評価	
14 その他評価形式が「その他」の場合、内容を記載	
合計（100%）	100

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	I. プロフェッショナリズム	II. 医学知識	III. 医療の実践	IV. 問題対応能力	V. コミュニケーション	VI. 科学的探求	VII. 地域医療	VIII. 国際貢献
1 定期試験：筆記試験（記述式）								
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）		a	a	a	a	b	b	b
3 小テスト：筆記試験（記述式）								
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）								
5 口頭試験								
6 レポート								
7 成果発表								
8 質問紙法								
9 直接観察法（模型または実際の患者）								
10 OSCE								
11 監言（オーディット）								
12 ポートフォリオ								
13 自己評価								
14 その他評価形式が「その他」の場合、内容を記載								
合計（100%）								

目標とする平均点	75点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目





札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修終了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、学生・デパートクォーターで規範的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
消化器外科学	1.5	カリキュラム・マップ アセスメント・マップ
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)
評価形式		
1 定期試験：筆記試験（記述式）		
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	100	c c c c a a a a b b b b
3 小テスト：筆記試験（記述式）		
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）		
5 口頭試験		
6 レポート		
7 成果発表		
8 質問紙法		
9 直接観察法（模型または実際の患者）		
10 OSCE		
11 監査（オーディット）		
12 ポートフォリオ		
13 自己評価		
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載		
合計（100%）	100	

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識						III. 医療の実践						IV. 問題対応能力						V. コミュニケーション						VI. 科学的探求						VII. 地域医療						VIII. 国際貢献																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
c	d	c	c	d	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	d	d	d	d	d	d	e	e	e	e	e	e	d	d	d	d	d	d	c	c	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
<table border="1"> <tr> <td>1 定期試験：筆記試験（記述式）</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）</td> <td>100</td><td>c</td><td>c</td><td>c</td><td>c</td><td>a</td><td>a</td><td>a</td><td>a</td><td>a</td><td>b</td><td>b</td><td>b</td><td>b</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>c</td><td>c</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>3 小テスト：筆記試験（記述式）</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>5 口頭試験</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>6 レポート</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>7 成果発表</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>8 質問紙法</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>9 直接観察法（模型または実際の患者）</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>10 OSCE</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>11 監査（オーディット）</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>12 ポートフォリオ</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>13 自己評価</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>合計（100%）</td> <td>100</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> </table>																														1 定期試験：筆記試験（記述式）																																									2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	100	c	c	c	c	a	a	a	a	a	b	b	b	b												c	c														3 小テスト：筆記試験（記述式）																																									4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																									5 口頭試験																																									6 レポート																																									7 成果発表																																									8 質問紙法																																									9 直接観察法（模型または実際の患者）																																									10 OSCE																																									11 監査（オーディット）																																									12 ポートフォリオ																																									13 自己評価																																									14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																									合計（100%）	100																																							
1 定期試験：筆記試験（記述式）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	100	c	c	c	c	a	a	a	a	a	b	b	b	b												c	c																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
3 小テスト：筆記試験（記述式）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
5 口頭試験																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
6 レポート																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
7 成果発表																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
8 質問紙法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
9 直接観察法（模型または実際の患者）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
10 OSCE																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
11 監査（オーディット）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
12 ポートフォリオ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
13 自己評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
合計（100%）	100																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
目標とする平均点	75点																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
再試験の回数	1回																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
授業形態	対面授業科目																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして模範的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

泌尿器科学	1	<b>カリキュラム・マップ</b>
-------	---	-------------------

**アセスメント・マップ**

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

評価形式	1 定期試験：筆記試験（記述式）	
	2 定期試験：筆記試験（多岐選択式）	90
	3 小テスト：筆記試験（記述式）	
	4 小テスト：筆記試験（多岐選択式）	
	5 口頭試験	
	6 レポート	
	7 成果発表	
	8 質問紙法	
	9 直接観察法（模型または実際の患者）	
	10 OSCE	
	11 監音（オーディオテープ）	
	12 ポートフォリオ	
	13 自己評価	
	14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	10
合計（100%）		100

目標とする平均点 75点

再試験の回数 2回

授業形態 対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー																																									
I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識				III. 医療の実践				IV. 問題対応能力				V. コミュニケーション				VI. 科学的探究			VII. 地域医療			VIII. 国際貢献													
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5								
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に活用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人命及び健康を守る医師の使命と責務を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び倫理規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けていく。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取り、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実施できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集し、分析して分析できる。	3 最新の情報を探求し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるため、1, 2, 3, 4, 5の各ステップが重要であることを認識し、実行できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いに行える。	2 信頼関係を築き、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもち、診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、第一他者へ敬意を払って接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究論理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が見られることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 フライマリ、ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	5 地域における医療専門職の役割を理解し、協働して医療を実践できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
② 評価形式毎の比重 (a: 主な対象項目/b: 副次的な対象項目/c: 対象に含めている項目)																																									

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー

凡例	高度 Advanced	S	初期臨床研修終了のレベルである
	応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、シミュレーション・ドクトラートとして規範的に関与、行動できる
	基礎 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
		C	医学生として基礎となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない	
E	経験・修得する機会がない		

科目名	単位数	学修成果と評価方法	札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー																																
			I. プロフェッショナリズム	II. 医学知識	III. 医療の実践	IV. 問題対応能力	V. コミュニケーション	VI. 科学的探究	VII. 地域医療	VIII. 国際貢献																									
脳神経外科学	1	カリキュラム・マップ	D	D	D	D	D	D	D	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E		
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)	② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)																																
評価形式																																			
1	定期試験：筆記試験(記述式)																																		
2	定期試験：筆記試験(多肢選択式)	95																																	
3	小テスト：筆記試験(記述式)																																		
4	小テスト：筆記試験(多肢選択式)																																		
5	口頭試験																																		
6	レポート																																		
7	成果発表																																		
8	質問紙法																																		
9	直接観察法(模型または実際の患者)																																		
10	OSCE																																		
11	監查(オーディット)																																		
12	ポートフォリオ																																		
13	自己評価																																		
14	その他評価形式が「その他」の場合、内容を記載	5																																	
合計(100%)		100																																	
目標とする平均点			70点																																
再試験の回数			1回																																
授業形態			対面授業科目																																

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして機動的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法	
循環器外科学	1.5	カリキュラム・マップ	
		アセスメント・マップ	
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)	
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)	
		評価形式	
		1 定期試験：筆記試験（記述式）	
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	100
		3 小テスト：筆記試験（記述式）	
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）	
		5 口頭試験	
		6 レポート	
		7 成果発表	
		8 質問紙法	
		9 直接観察法（横型または実際の患者）	
		10 OSCE	
11 監査（オーディット）			
12 ポートフォリオ			
13 自己評価			
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載			
合計（100%）	100		

目標とする平均点	75点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー																																										
I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力				V. コミュニケーション			VI. 科学的探求			VII. 地域医療			VIII. 国際貢献													
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5						
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した上で適切に行動できる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人倫の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けていく。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的必要性を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に即して正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探求し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重んじることができる。	指導力及び協働性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学的研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的知見を獲得するための合理的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	地域社会における地域医療の位置付けについて説明できる。	社会経済における地域医療の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	フライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力への役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
E	E	D	D	E	D	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	E	E	E	E	E	D			

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を修了し、スケジュールドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

凡例	科目名	単位数	学修成果と評価方法
	産科・婦人科学	1.5	カリキュラム・マップ

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー																																									
I. プロフェッショナリズム					II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力				V. コミュニケーション			VI. 科学的探求			VII. 地域医療			VIII. 国際貢献													
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	4	5						
1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	2 法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した上で適切に行動できる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 入退の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けていく。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探求し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重んじることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協同性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための合理的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 フライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力への役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	5 国際社会における医学的課題を説明できる。
A	A	A	A	A	A	B	B	A	A	A	A	A	A	A	A	A	B	B	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	B	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	
① 評価形式ごとの評価割合 (%)																																									
② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)																																									
評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計(100%)	100																									
1 定期試験：筆記試験（記述式）																																									
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	90	a	a	a	a	a	a	b	b	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a						
3 小テスト：筆記試験（記述式）																																									
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																									
5 口頭試験																																									
6 レポート																																									
7 成果発表																																									
8 質問紙法																																									
9 直接観察法（横型または実際の患者）																																									
10 OSCE																																									
11 監査（オーディット）																																									
12 ポートフォリオ																																									
13 自己評価																																									
14 その他 出席状況、授業態度など	10	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c																											
合計(100%)	100																																								
目標とする平均点	75点																																								
再試験の回数	1回																																								
授業形態	対面授業科目																																								

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修終了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、ステーション・シフトワークとして規範的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法	
耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	1	カリキュラム・マップ	
		アセスメント・マップ	
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)	
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)	
		1 定期試験：筆記試験（記述式）	100
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	
		3 小テスト：筆記試験（記述式）	
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）	
		5 口頭試験	
		6 レポート	
		7 成果発表	
		8 質問紙法	
		9 直接観察法（模型または実際の患者）	
		10 OSCE	
11 監査（オーディット）			
12 ポートフォリオ			
13 自己評価			
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載			
合計（100%）	100		

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識						III. 医療の実践						IV. 問題対応能力						V. コミュニケーション						VI. 科学的探求						VII. 地域医療						VIII. 国際貢献																																																									
1	医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	1	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	1	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	1	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	1	地域社会における健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	1	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	1	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	2	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	2	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	2	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	2	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	2	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	2	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	3	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	3	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	3	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3	医学的探求を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	3	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	3	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	4	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	4	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	4	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	4	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	4	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	4	地域社会における健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	4	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	4	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	5	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	5	疾病の病態・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	5	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	5	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	5	地域社会における健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	5	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	5	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	6	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	6	疾病の病態・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	6	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	6	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	6	医学的探求を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	6	地域社会における健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	6	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	6	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。

目標とする平均点	70点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修終了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、アセスメントドクターとして規範的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法	
整形外科科学	1	カリキュラム・マップ	
		アセスメント・マップ	
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)	
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)	
		1 定期試験：筆記試験（記述式）	95
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	
		3 小テスト：筆記試験（記述式）	
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）	
		5 口頭試験	
		6 レポート	
		7 成果発表	
		8 質問紙法	
		9 直接観察法（模型または実際の患者）	
		10 OSCE	
11 監査（オーディット）			
12 ポートフォリオ			
13 自己評価			
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	5 出席状況、授業態度		
合計（100%）	100		

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識		III. 医療の実践		IV. 問題対応能力		V. コミュニケーション		VI. 科学的探求		VII. 地域医療		VIII. 国際貢献			
1	医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	1	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	1	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	1	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	1	地域社会における健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	1	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	1	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。		
2	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	2	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	2	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	2	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	2	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	2	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	2	成学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。		
3	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した上振る舞いができる。	3	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	3	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	3	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	3	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	3	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	3	地域医療における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	3	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	3	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
4	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	4	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	4	規範に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	4	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	4	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	4	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	4	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	4	成学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。
5	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	5	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	5	医療安全、感染症対策を実践できる。	5	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5	幅広い価値観や社会的背景が多様であることを理解し、特に他者に敬重を払って接することができる。	5	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	5	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	5	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
6	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	6	規範に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	6	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	6	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	6	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	6	地域医療における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	6	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	6	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。

目標とする平均点	80点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スケジュールドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

口腔外科学	0.5	カリキュラム・マップ
-------	-----	------------

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計 (100%)
1 定期試験：筆記試験（記述式）	30														
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	60														
3 小テスト：筆記試験（記述式）															
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）															
5 口頭試験															
6 レポート															
7 成果発表															
8 質問紙法															
9 直接観察法（横型または実際の患者）															
10 OSCE															
11 監査（オーディット）															
12 ポートフォリオ															
13 自己評価															
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載し出席状況、授業態度	10														
合計 (100%)	100														

目標とする平均点	80点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

I. プロフェッショナリズム	II. 医学知識	III. 医療の実践	IV. 問題対応能力	V. コミュニケーション	VI. 科学的探求	VII. 地域医療	VIII. 国際貢献
1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	1 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性を十分に理解し実践できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。
2 法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	2 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	2 医学的知見を確得するための科学的な理論や方法を、研究倫理について説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立つて実践する基礎的能力を身に付けている。
3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した面を辨別することができる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の説明に活用できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	3 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	3 フライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。
4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的必要性を説明できる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	4 指導力及び協働性をもち、診療や保健指導の基礎を実践できる。	4 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	4 地域医療における国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。
5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	5 医療関係者、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	5 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。							
7 地域社会の健康の向上及び増進の重要性を十分に理解し実践できる。							
8 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立つて実践する基礎的能力を身に付けている。							
9 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。							
10 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。							
11 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。							

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修終了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、アセスメントワークシートで規範的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法																						
衛生学	1	カリキュラム・マップ																						
		アセスメント・マップ																						
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)																						
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)																						
		1 定期試験：筆記試験（記述式）	50	b	a	c	c	c	c	a	c	b	b	b	b	b	c	c	c	a	b	a	b	
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	40	b	a		c	c	a						b	b	c	c		a	b	a	b	
		3 小テスト：筆記試験（記述式）																						
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																						
		5 口頭試験																						
		6 レポート																						
		7 成果発表																						
		8 質問紙法																						
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																						
		10 OSCE																						
11 監査（オーディット）																								
12 ポートフォリオ																								
13 自己評価																								
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	10	c	c	c																				
合計（100%）	100																							

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識				III. 医療の実践				IV. 問題対応能力				V. コミュニケーション				VI. 科学的探求				VII. 地域医療				VIII. 国際貢献																																																																			
1	医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に適用できる。	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	1	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	1	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	1	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	1	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	1	地域社会における健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	1	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	1	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	2	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	2	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	2	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	2	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	2	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	2	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	2	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	3	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	3	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の診断に活用できる。	3	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3	展新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	3	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	3	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	3	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	3	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	4	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	4	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	4	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	4	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生連学習が重要であることを説明できる。	4	乳儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	4	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	4	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	4	地域社会における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	4	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	4	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	5	5人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	5	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	5	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5	乳儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	5	展新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	5	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5	地域社会における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	5	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	5	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。

目標とする平均点	80点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目







札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スケジュールドクターとして機動的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

凡例	科目名	単位数	学修成果と評価方法
----	-----	-----	-----------

医学概論・医療総論4	0.5	カリキュラム・マップ	
------------	-----	------------	--

I. プロフェッショナリズム	II. 医学知識	III. 医療の実践	IV. 問題対応能力	V. コミュニケーション	VI. 科学的探求	VII. 地域医療	VIII. 国際貢献
1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。
2 法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身に付けている。
3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した上で判断し、行動できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	3 最新の情報を探求し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	3 フライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	3 医療・保健に関わる国際協力への役割を説明できる。
4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に即して正しく実践できる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	4 指導力及び協働性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	4 医学的知見を獲得するための合理的な理論や方法を、研究倫理について説明できる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	4 医療・保健に関する国際的視野に立って実践する基礎的能力を身に付けている。
5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	5 医療チームのリーダーとして多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	5 国際社会における医学的課題を説明できる。
6 入退の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。							

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%)      ② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計(100%)
1 定期試験：筆記試験（記述式）	70														
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）															
3 小テスト：筆記試験（記述式）	30														
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）															
5 口頭試験															
6 レポート															
7 成果発表															
8 質問紙法															
9 直接観察法（横型または実際の患者）															
10 OSCE															
11 監査（オーディット）															
12 ポートフォリオ															
13 自己評価															
14 その他評価形式が「その他」の場合、内容を記載															
合計(100%)	100														

目標とする平均点	70点
再試験の回数	0回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スケジュールドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

凡例	科目名	単位数	学修成果と評価方法
	PBL チュートリアル	1.5	カリキュラム・マップ
			アセスメント・マップ
			① 評価形式ごとの評価割合 (%)
			② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)
評価形式	1 定期試験：筆記試験（記述式）		
	2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）		
	3 小テスト：筆記試験（記述式）		
	4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）		
	5 口頭試験		
	6 レポート	40	a a a a b c a
	7 成果発表	30	a a a a b c a
	8 質問紙法		
	9 直接観察法（横型または実際の患者）		
	10 OSCE		
	11 監査（オーディット）		
	12 ポートフォリオ		
	13 自己評価		
	14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	30	a
	合計（100%）	100	
	目標とする平均点	75点	
	再試験の回数	1回	
	授業形態	対面授業科目	

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー																																																																																			
I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識						III. 医療の実践						IV. 問題対応能力				V. コミュニケーション				VI. 科学的探求		VII. 地域医療			VIII. 国際貢献																																																				
1	医療倫理及び生命倫理の原則を説明し、具体的な状況に適用できる。	2	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	3	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した上で判断し、行動できる。	4	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6	人権の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けていく。	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の診断に活用できる。	4	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	5	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5	医療安全、感染症対策を実践できる。	6	災害時の医療について説明できる。	1	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3	最新の情報を探求し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重んじることができる。	3	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4	指導力及び協働性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法を、研究倫理について説明できる。	5	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3	医療・保健に関わる国際協力への役割を説明できる。	4	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	5	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
D	D	E	E	E	E	E	E	E	E	C	C	C	C	C	E	D	B	E	C	E	B	B	B	B	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	D	D	D	E	E																																											

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして機動的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
応用医療情報科学	1	カリキュラム・マップ

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識		III. 医療の実践		IV. 問題対応能力		V. コミュニケーション		VI. 科学的探求		VII. 地域医療		VIII. 国際貢献	
1	医療倫理及び生命倫理の原則を説明し、具体的な状況に適用できる。	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	1	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	1	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	1	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	1	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	1	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解するための重要性を説明できる。	1	国際社会における医学的課題を説明できる。
2	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	2	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	2	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	2	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	2	科学的知見を獲得するための科学的な理論や方法を研究倫理について説明できる。	2	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	2	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけていく。	2	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。
3	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識し、論議する必要がある。	3	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の診断に活用できる。	3	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	3	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	3	指導力及び協同性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	3	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	3	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	3	医療・保健に関わる国際協力への役割を説明できる。
4	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	4	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	4	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に即して正しく実践できる。	4	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	4	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	4	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	4	フライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4	医療・保健に関わる国際協力への役割を説明できる。
5	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	5	生命の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の診断に活用できる。	5	災害時の医療について説明できる。	5	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	5	1人1人の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	5	科学的知見を獲得するための科学的な理論や方法を研究倫理について説明できる。	5	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	5	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解するための重要性を説明できる。
6	人命の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けていく。	6	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	6	医療安全、感染症対策を実践できる。	6	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	6	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	6	科学的知見を獲得するための科学的な理論や方法を研究倫理について説明できる。	6	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	6	国際社会における医学的課題を説明できる。

① 評価形式ごとの評価割合 (%)      ② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
1 定期試験：筆記試験（記述式）														
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	100	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a
3 小テスト：筆記試験（記述式）														
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）														
5 口頭試験														
6 レポート														
7 成果発表														
8 質問紙法														
9 直接観察法（横型または実際の患者）														
10 OSCE														
11 監査（オーディット）														
12 ポートフォリオ														
13 自己評価														
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載														
合計（100%）	100													

目標とする平均点	75点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

凡例	科目名	単位数	学修成果と評価方法
	地域医療合同セミナー4	1	カリキュラム・マップ アセスメント・マップ
	評価形式		① 評価形式ごとの評価割合 (%)
			② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)
	1 定期試験：筆記試験（記述式）		
	2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）		
	3 小テスト：筆記試験（記述式）		
	4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）		
	5 口頭試験		
	6 レポート	20	a
	7 成果発表	50	a
	8 質問紙法		
	9 直接観察法（横型または実際の患者）		
	10 OSCE		
	11 監査（オーディット）		
	12 ポートフォリオ		
	13 自己評価	30	a
	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載		
	合計（100%）	100	
	目標とする平均点		90点
	再試験の回数		1回
	授業形態		対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー																																																					
I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識						III. 医療の実践						IV. 問題対応能力				V. コミュニケーション				VI. 科学的探求				VII. 地域医療				VIII. 国際貢献																			
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
医療倫理及び生命倫理の原則を説明し、具体的な状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した上で判断し、行動できる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	入退の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けていく。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的必要性を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に即して正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探求し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重んじることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協働性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	医学的研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	地域社会における地域医療の位置づけについて説明できる。	社会経済における地域医療の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	フライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	国際社会における医学的課題を説明できる。	国際社会における医学的課題を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	5 国際社会における医学的課題を説明できる。						

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして機能的に臨床、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

医療統計学2	0.5	カリキュラム・マップ
--------	-----	------------

**アセスメント・マップ**

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計 (100%)
1 定期試験：筆記試験（記述式）															
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）															
3 小テスト：筆記試験（記述式）															
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）	30														
5 口頭試験															
6 レポート	70														
7 成果発表															
8 質問紙法															
9 直接観察法（横断または実際の患者）															
10 OSCE															
11 監査（オーディット）															
12 ポートフォリオ															
13 自己評価															
14 その他評価形式が「その他」の場合、内容を記載															
合計 (100%)	100														

目標とする平均点 75点

再試験の回数 0回

授業形態 対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー

I. プロフェッショナリズム					II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献																																														
1	医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	2	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	3	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した上で適切に判断し、行動できる。	4	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6	人権の尊重及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けていく。	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の診断に活用できる。	4	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	5	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に即して正しく実践できる。	5	医療安全、感染症対策を実践できる。	6	災害時の医療について説明できる。	1	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重んじることができる。	3	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4	指導力及び協働性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	1	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3	フライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3	医療・保健に関わる国際協力への役割を説明できる。	4	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	5	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。

D	D	D	D	D	B	D	C	C	D	C	C	E	E	E	D	D	D	B	B	D	E	E	E	E	E	C	C	C	C	D	D	E	E	E	D	D	D	C	D
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を修了し、スケジュールドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

精神医学	2	カリキュラム・マップ
------	---	------------

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識				III. 医療の実践				IV. 問題対応能力				V. コミュニケーション			VI. 科学的探求			VII. 地域医療			VIII. 国際貢献																														
1	医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	1	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	1	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	1	医療・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	1	医療安全、感染症対策を実践できる。	1	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	1	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	1	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解するための重要性を説明できる。	1	医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	2	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	2	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	2	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	2	最新の情報を探求し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	2	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	2	科学的知見を導くための科学的な理論や方法を研究倫理について説明できる。	2	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	2	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	2	医療・保健に関わる国際協力への役割を説明できる。	2	地域医療の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解するための重要性を説明できる。	2	医療・保健に関わる国際協力への役割を説明できる。	2	地域医療の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	2	医療・保健に関わる国際協力への役割を説明できる。	2	地域医療の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解するための重要性を説明できる。

**アセスメント・マップ**

① 評価形式ごとの評価割合 (%)      ② 評価形式毎の比重 (a: 主な対象項目/b: 副次的な対象項目/c: 対象に含めている項目)

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計(100%)
1 定期試験：筆記試験（記述式）															
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	100	a	c	a	a	a	a	c	a	a	b	c	c	a	c
3 小テスト：筆記試験（記述式）															
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）															
5 口頭試験															
6 レポート															
7 成果発表															
8 質問紙法															
9 直接観察法（横断または実際の患者）															
10 OSCE															
11 監査（オーディット）															
12 ポートフォリオ															
13 自己評価															
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載															
合計(100%)	100														

目標とする平均点	70点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を体験し、スケジュールドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
IVR・放射線治療	0.5	カリキュラム・マップ
		アセスメント・マップ
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)
評価形式		
1 定期試験：筆記試験（記述式）	10	a a a
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	90	a a a
3 小テスト：筆記試験（記述式）		
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）		
5 口頭試験		
6 レポート		
7 成果発表		
8 質問紙法		
9 直接観察法（横断または実際の患者）		
10 OSCE		
11 監査（オーディット）		
12 ポートフォリオ		
13 自己評価		
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載		
合計（100%）	100	
目標とする平均点		75点
再試験の回数		1回
授業形態		対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー																																									
I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識						III. 医療の実践						IV. 問題対応能力				V. コミュニケーション				VI. 科学的探求				VII. 地域医療				VIII. 国際貢献							
1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に応用できる。	2 法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識し、価値を判断し、行動できる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人倫の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けていく。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の診断に活用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に即して正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探求し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重んじることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協働性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに伴った役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 フライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力への役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
E	E	E	D	D	D	B	B	D	B	D	D	D	B	B	D	D	D	B	D	D	E	D	D	D	D	D	D	B	D	E	E	D	E	E	D	E	E				

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を修了し、ステューデントクワータールとして模範的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

凡例	科目名	単位数	学修成果と評価方法
----	-----	-----	-----------

医療薬学	0.5	カリキュラム・マップ	c
------	-----	------------	---

**アセスメント・マップ**

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含まれている項目)

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計(100%)	目標とする平均点	再試験の回数	授業形態
1 定期試験：筆記試験（記述式）															20	75	1	対面授業科目
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）															70			
3 小テスト：筆記試験（記述式）																		
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																		
5 口頭試験																		
6 レポート																		
7 成果発表																		
8 質問紙法																		
9 直接観察法（模写または実際の患者）																		
10 OSCE																		
11 監査（オーディット）																		
12 ポートフォリオ																		
13 自己評価																		
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載															10			
合計(100%)															100			
目標とする平均点															75			
再試験の回数															1			
授業形態															対面授業科目			

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー																																																																																			
I. プロフェッショナリズム					II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献																																																
1	医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	2	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	3	生及び死に関する倫理的な問題を多角的に認識した上で行動できる。	4	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚して行動できる。	5	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6	人倫の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けていく。	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	4	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	5	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3	臨床情報を整理して臨床推察を行い、診断することができる。	4	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5	医療安全、感染症対策を実践できる。	6	災害時の医療について説明できる。	1	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3	最新の情報を探求し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身振りを振る舞うことができる。	2	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4	指導力及び協働性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解するための重要性を説明できる。	2	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3	医療・保健に関わる国際協力への役割を説明できる。	4	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	5	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を修了し、ステューデントクワーターとして模範的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

凡例	科目名	単位数	学修成果と評価方法
----	-----	-----	-----------

統合医療学	0.5	カリキュラム・マップ	c
-------	-----	------------	---

**アセスメント・マップ**

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計(100%)	目標とする平均点	再試験の回数	授業形態	
1 定期試験：筆記試験（記述式）	20																		
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	70																		
3 小テスト：筆記試験（記述式）																			
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																			
5 口頭試験																			
6 レポート																			
7 成果発表																			
8 質問紙法																			
9 直接観察法（模写または実際の患者）																			
10 OSCE																			
11 監査（オーディット）																			
12 ポートフォリオ																			
13 自己評価																			
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	10																		
合計(100%)	100																		
目標とする平均点		75点																	
再試験の回数		1回																	
授業形態		対面授業科目																	

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー																																																																																			
I. プロフェッショナリズム					II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献																																																
1	医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	2	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	3	生及び死に関する倫理的な問題を多角的に認識したうえで、適切な対応ができる。	4	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6	入退の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けていく。	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	4	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	5	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3	臨床情報を整理して臨床推察を行い、診断することができる。	4	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5	医療安全、感染症対策を実践できる。	6	災害時の医療について説明できる。	1	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3	最新の情報を探求し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身振りを振る舞うことができる。	2	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4	指導力及び協働性をもち、診療や保健指導の基礎を実践できる。	5	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3	医療・保健に関わる国際協力への役割を説明できる。	4	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	5	国際社会における医学的な課題を説明できる。

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スケジュールドクターとして機動的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

凡例	科目名	単位数	学修成果と評価方法
	総合診療入門	1	カリキュラム・マップ
			アセスメント・マップ
			① 評価形式ごとの評価割合 (%)
			② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)
	評価形式		
	1 定期試験：筆記試験（記述式）	100	b b b b b b a a c c c
	2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）		
	3 小テスト：筆記試験（記述式）		
	4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）		
	5 口頭試験		
	6 レポート		
	7 成果発表		
	8 質問紙法		
	9 直接観察法（横型または実際の患者）		
	10 OSCE		
	11 監査（オーディット）		
	12 ポートフォリオ		
	13 自己評価		
	14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載		
	合計（100%）	100	
	目標とする平均点		80点
	再試験の回数		1回
	授業形態		対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンツ・コンピテンシー																																																																																	
I. プロフェッショナリズム					II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献																																														
1	医療倫理及び生命倫理の原則を説明し、具体的な状況に適用できる。	2	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	3	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した上で説明できる。	4	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6	人権の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けていく。	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に応用できる。	4	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	5	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5	医療安全、感染症対策を実践できる。	6	災害時の医療について説明できる。	1	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3	最新の情報を探査し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4	指導力及び協同性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	1	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2	地域社会における地域医療の位置付けについて説明できる。	3	フレイル・マリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身に付けていく。	3	医療・保健に関わる国際協力に貢献できる。	4	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	5	国際社会における医学的な課題を説明できる。

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を修了し、ステューデントクワーターとして模範的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

臨床検査医学	1.5	カリキュラム・マップ
--------	-----	------------

**アセスメント・マップ**

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計(100%)	目標とする平均点	再試験の回数	授業形態	
1 定期試験：筆記試験（記述式）																	80点	1回	対面授業科目
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	90																		
3 小テスト：筆記試験（記述式）																			
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																			
5 口頭試験																			
6 レポート																			
7 成果発表																			
8 質問紙法																			
9 直接観察法（模写または実際の患者）																			
10 OSCE																			
11 監査（オーディット）																			
12 ポートフォリオ																			
13 自己評価																			
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	10																		
合計(100%)	100																		
目標とする平均点		80点																	
再試験の回数		1回																	
授業形態		対面授業科目																	

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー																																																																																			
I. プロフェッショナリズム					II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献																																																
1	医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	2	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	3	生及び死に関する倫理的な問題を多角的に認識した上で行動できる。	4	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚して行動できる。	5	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6	人権の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けていく。	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	4	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	5	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3	臨床情報を整理して臨床推察を行い、診断することが出来る。	4	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5	医療安全、感染症対策を実践できる。	6	災害時の医療について説明できる。	1	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身振りを振る舞うことができる。	2	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることが出来る。	3	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4	指導力及び協働性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解するこの重要性を説明できる。	2	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	5	国際社会における医学的な課題を説明できる。

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を修了し、ステューデントクワーターとして模範的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

リハビリテーション 医学	1.5	カリキュラム・マップ
-----------------	-----	------------

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー																																																																																			
I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識						III. 医療の実践						IV. 問題対応能力				V. コミュニケーション				VI. 科学的探求				VII. 地域医療				VIII. 国際貢献																																																	
1	医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	2	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	3	生及び死に関する倫理的な問題を多角的に認識した上で判断し行動できる。	4	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6	人権の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けていく。	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	4	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	5	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5	医療安全、感染症対策を実践できる。	6	災害時の医療について説明できる。	1	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3	最新の情報を探求し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身振りを振る舞うことができる。	2	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4	指導力及び協働性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3	科学的思考に基づいた探求心を身につけている。	4	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3	医療・保健に関わる国際協力への役割を説明できる。	4	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	5	国際社会における医学的な課題を説明できる。
②評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)																																																																																			
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）	2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）	3	小テスト：筆記試験（記述式）	4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）	5	口頭試験	6	レポート	7	成果発表	8	質問紙法	9	直接観察法（模写または実際の患者）	10	OSCE	11	監査（オーディット）	12	ポートフォリオ	13	自己評価	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	合計（100%）	100	目標とする平均点	80点	再試験の回数	1回	授業形態	対面授業科目																																															

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スケジュールドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

臨床医学	0.5	カリキュラム・マップ
------	-----	------------

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識		III. 医療の実践		IV. 問題対応能力		V. コミュニケーション		VI. 科学的探求		VII. 地域医療		VIII. 国際貢献			
1	医療倫理及び生命倫理の原則を説明し、具体的な状況に適用できる。	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	1	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	1	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	1	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	1	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	1	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解するための重要性を説明できる。	1	国際社会における医学的課題を説明できる。		
2	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	2	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	2	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	2	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	2	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	2	社会経済における地域医療の位置づけについて説明できる。	2	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	2	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。		
3	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した上で判断し、行動できる。	3	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の診断に活用できる。	3	臨床情報整理して臨床推論を行い、診断することができる。	3	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	3	医療研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	3	医療・保健に関わる国際協力への役割を説明できる。	3	疫学・保健に関わる国際協力への役割を説明できる。		
4	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	4	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	4	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に即して正しく実践できる。	4	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	4	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法を研究倫理について説明できる。	4	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	4	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	4	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解するための重要性を説明できる。
5	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	5	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	5	災害時の医療について説明できる。	5	1 医療及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	5	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	5	1 地域医療の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	5	2 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	5	2 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	5	2 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%)      ② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計(100%)
1 定期試験：筆記試験（記述式）															
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）															
3 小テスト：筆記試験（記述式）															
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）															
5 口頭試験															
6 レポート	100														
7 成果発表															
8 質問紙法															
9 直接観察法（横型または実際の患者）															
10 OSCE															
11 監査（オーディット）															
12 ポートフォリオ															
13 自己評価															
14 その他評価形式が「その他」の場合、内容を記載															
合計(100%)	100														

目標とする平均点	80点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スケジュールドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
E 経験・修得する機会がない	

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

緩和医療学	0.5	カリキュラム・マップ
-------	-----	------------

I. プロフェッショナリズム	II. 医学知識	III. 医療の実践	IV. 問題対応能力	V. コミュニケーション	VI. 科学的探求	VII. 地域医療	VIII. 国際貢献
1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身振りと振る舞いができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。
2 法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身に付けている。
3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した上で判断できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の診断に応用できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	3 フライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	3 医療・保健に関わる国際協力への役割を説明できる。
4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に即して正しく実践できる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	4 指導力及び協働性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。
5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	5 国際社会における医学的な課題を説明できる。
6 入退の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。							

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%)      ② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含まれている項目)

評価形式	割合 (%)	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII
1 定期試験：筆記試験（記述式）	50	c	a	a	c	a	a	a	c
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	50	c	a	a	c	a	a	a	c
3 小テスト：筆記試験（記述式）									
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）									
5 口頭試験									
6 レポート									
7 成果発表									
8 質問紙法									
9 直接観察法（横型または実際の患者）									
10 OSCE									
11 監査（オーディット）									
12 ポートフォリオ									
13 自己評価									
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載									
合計 (100%)	100								

目標とする平均点	70点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スケジュールドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

症候診断学	1.5	カリキュラム・マップ
-------	-----	------------

**アセスメント・マップ**

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含まれている項目)

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計(100%)
1 定期試験：筆記試験（記述式）															
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	95														
3 小テスト：筆記試験（記述式）															
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）															
5 口頭試験															
6 レポート															
7 成果発表															
8 質問紙法															
9 直接観察法（横型または実際の患者）															
10 OSCE															
11 監査（オーディット）															
12 ポートフォリオ															
13 自己評価															
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	5														
合計(100%)	100														

目標とする平均点	80点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー																																																																																			
I. プロフェッショナリズム					II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献																																																
1	医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	2	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	3	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した上で判断し、行動できる。	4	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6	人権の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けていく。	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の診断に活用できる。	4	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	5	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に即して正しく実践できる。	5	医療安全、感染症対策を実践できる。	6	災害時の医療について説明できる。	1	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3	最新の情報を探査し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4	指導力及び協働性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4	医学的知見を獲得するための合理的な理論や方法を、研究倫理について説明できる。	5	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3	医療・保健に関わる国際協力への役割を説明できる。	4	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	5	国際社会における医学的課題を説明できる。

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修終了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スケジュールドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

凡例	科目名	単位数	学修成果と評価方法
	麻酔科学	0.5	カリキュラム・マップ
			アセスメント・マップ
			① 評価形式ごとの評価割合 (%)
			② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含まれている項目)
評価形式	1 定期試験：筆記試験（記述式）		
	2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	90	a b c
	3 小テスト：筆記試験（記述式）		
	4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）		
	5 口頭試験		
	6 レポート		
	7 成果発表		
	8 質問紙法		
	9 直接観察法（横型または実際の患者）		
	10 OSCE		
	11 監査（オーディット）		
	12 ポートフォリオ		
	13 自己評価		
	14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	10	c
	合計（100%）	100	
	目標とする平均点		75点
	再試験の回数		1回
	授業形態		対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー																																												
I. プロフェッショナリズム					II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献									
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
カリキュラム・マップ					アセスメント・マップ					① 評価形式ごとの評価割合 (%)					② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含まれている項目)																													





カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を修了し、スチューデントクワーターとして模範的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

凡例	科目名	単位数	学修成果と評価方法
	集中治療医学	0.5	カリキュラム・マップ

**アセスメント・マップ**

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計(100%)	目標とする平均点	再試験の回数	授業形態	
1 定期試験：筆記試験（記述式）																			
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	100	a			a		a	a											
3 小テスト：筆記試験（記述式）																			
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																			
5 口頭試験																			
6 レポート																			
7 成果発表																			
8 質問紙法																			
9 直接観察法（模写または実際の患者）																			
10 OSCE																			
11 監査（オーディット）																			
12 ポートフォリオ																			
13 自己評価																			
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																			
合計(100%)	100																		
目標とする平均点		70点																	
再試験の回数		1回																	
授業形態		対面授業科目																	

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー																																																																																			
I. プロフェッショナリズム					II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献																																																
1	医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	2	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	3	生及び死に関する倫理的な問題を多角的に認識した上で行動できる。	4	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚して行動できる。	5	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6	人権の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けていく。	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	4	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	5	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3	臨床情報を整理して臨床推察を行い、診断することができる。	4	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5	医療安全、感染症対策を実践できる。	6	災害時の医療について説明できる。	1	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身振りを振る舞うことができる。	2	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4	指導力及び協働性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3	医療・保健に関わる国際協力への役割を説明できる。	4	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	5	国際社会における医学的な課題を説明できる。

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修終了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スケジュールドクターとして機動的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法	カリキュラム・マップ	
			1	2
眼科学	1	カリキュラム・マップ	c	c
		アセスメント・マップ	c	c
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)	c	c
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)	c	c
		評価形式	c	c
		1 定期試験：筆記試験（記述式）	100	a
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）		a
		3 小テスト：筆記試験（記述式）		a
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）		a
		5 口頭試験		a
		6 レポート		a
		7 成果発表		a
		8 質問紙法		a
		9 直接観察法（横型または実際の患者）		a
		10 OSCE		a
		11 監査（オーディット）		a
12 ポートフォリオ		a		
13 自己評価		a		
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載		a		
合計（100%）	100	a		
目標とする平均点		70点		
再試験の回数		1回		
授業形態		対面授業科目		

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシス・コンピテンション																																								
I. プロフェッショナリズム					II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献					
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5				
医療倫理及び生命倫理の原則を説明し、具体的な状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した上で適切に判断できる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人倫の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けていく。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の診断に応用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探求し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1人及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協働性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法を、研究倫理について説明できる。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置づけについて説明できる。	5個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	フライマリ・クラブを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に応用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を修了し、シミュレーション・シナリオとして模範的に聞き、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法	
臨床入門	2	カリキュラム・マップ	
		アセスメント・マップ	
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)	
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)	
		評価形式	
		1 定期試験：筆記試験（記述式）	
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	
		3 小テスト：筆記試験（記述式）	
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）	
		5 口頭試験	
		6 レポート	
		7 成果発表	
		8 質問紙法	
		9 直接観察法（横型または縦型の患者）	
10 OSCE	50		
11 監査（オーディット）			
12 ポートフォリオ			
13 自己評価			
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	50 CBT		
合計（100%）	100		
目標とする平均点	70点		
再試験の回数	1回		
授業形態	対面授業科目		

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識						III. 医療の実践						IV. 問題対応能力				V. コミュニケーション				VI. 科学的探求				VII. 地域医療				VIII. 国際貢献																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
<p>① 評価形式ごとの評価割合 (%)</p> <p>② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)</p> <table border="1"> <tr> <td>評価形式</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>1 定期試験：筆記試験（記述式）</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>3 小テスト：筆記試験（記述式）</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>5 口頭試験</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>6 レポート</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>7 成果発表</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>8 質問紙法</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>9 直接観察法（横型または縦型の患者）</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>10 OSCE</td> <td>50</td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>11 監査（オーディット）</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>12 ポートフォリオ</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>13 自己評価</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載</td> <td>50 CBT</td> <td>a</td><td>a</td><td>a</td><td>a</td> <td>a</td><td>a</td><td>a</td><td>a</td><td>a</td> <td>a</td><td>a</td><td>a</td><td>a</td><td>a</td> <td>a</td><td>a</td><td>a</td><td>a</td> <td>a</td><td>a</td><td>a</td><td>a</td> <td>a</td><td>a</td><td>a</td><td>a</td> <td>a</td><td>a</td><td>a</td><td>a</td> <td>a</td><td>a</td><td>a</td><td>a</td> <td>a</td><td>a</td><td>a</td><td>a</td> <td>a</td><td>a</td><td>a</td><td>a</td> </tr> <tr> <td>合計（100%）</td> <td>100</td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>目標とする平均点</td> <td></td> <td colspan="4">70点</td> <td colspan="20"></td> </tr> <tr> <td>再試験の回数</td> <td></td> <td colspan="4">1回</td> <td colspan="20"></td> </tr> <tr> <td>授業形態</td> <td></td> <td colspan="4">対面授業科目</td> <td colspan="20"></td> </tr> </table>																										評価形式																																												1 定期試験：筆記試験（記述式）																																												2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																												3 小テスト：筆記試験（記述式）																																												4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																												5 口頭試験																																												6 レポート																																												7 成果発表																																												8 質問紙法																																												9 直接観察法（横型または縦型の患者）																																												10 OSCE	50																																											11 監査（オーディット）																																												12 ポートフォリオ																																												13 自己評価																																												14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	50 CBT	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	合計（100%）	100																																											目標とする平均点		70点																								再試験の回数		1回																								授業形態		対面授業科目																							
評価形式																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
1 定期試験：筆記試験（記述式）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
3 小テスト：筆記試験（記述式）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
5 口頭試験																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
6 レポート																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
7 成果発表																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
8 質問紙法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
9 直接観察法（横型または縦型の患者）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
10 OSCE	50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
11 監査（オーディット）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
12 ポートフォリオ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
13 自己評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	50 CBT	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
合計（100%）	100																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
目標とする平均点		70点																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
再試験の回数		1回																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
授業形態		対面授業科目																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スケジュールドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

凡例	科目名	単位数	学修成果と評価方法
	医療安全管理学	0.5	カリキュラム・マップ
			アセスメント・マップ
			① 評価形式ごとの評価割合 (%)
			② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)
評価形式	1 定期試験：筆記試験（記述式）		
	2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	90	a b
	3 小テスト：筆記試験（記述式）	10	b
	4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）		b
	5 口頭試験		
	6 レポート		
	7 成果発表		
	8 質問紙法		
	9 直接観察法（横型または実際の患者）		
	10 OSCE		
	11 監査（オーディット）		
	12 ポートフォリオ		
	13 自己評価		
	14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載		
	合計（100%）	100	
	目標とする平均点		80点
	再試験の回数		1回
	授業形態		対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー																																																																																			
I. プロフェッショナリズム					II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献																																																
1	医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	2	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	3	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した上で判断し、行動できる。	4	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6	人権の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けていく。	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	4	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	5	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に即して正しく実践できる。	5	医療安全、感染症対策を実践できる。	6	災害時の医療について説明できる。	1	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3	最新の情報を探求し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4	指導力及び協働性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4	医学的知見を獲得するための合理的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3	医療・保健に関わる国際協力への役割を説明できる。	4	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	5	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を修了し、シミュレーション・プログラムとして模範的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

凡例	科目名	単位数	学修成果と評価方法
----	-----	-----	-----------

法医学・ 医事法	2.5	カリキュラム・マップ	
-------------	-----	------------	--

**アセスメント・マップ**

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計(100%)
1 定期試験：筆記試験（記述式）	35														
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	35														
3 小テスト：筆記試験（記述式）															
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）															
5 口頭試験															
6 レポート	20														
7 成果発表															
8 質問紙法															
9 直接観察法（横型または実際の患者）															
10 OSCE															
11 監査（オーディット）															
12 ポートフォリオ															
13 自己評価															
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	10 出席状況														
合計(100%)	100														

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシス・コンピテンシー																																										
I. プロフェッショナリズム					II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献							
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5			
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した上で判断できる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けていく。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の診断に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探求し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協働性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	5個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	フライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	国際社会における医学的課題を説明できる。	
c	a	a	d	s	c	d	d	d	d	d	e	e	e	e	d	c	d	d	d	d	d	e	e	e	e	c	c	c	c	c	d	d	e	e	e	e	e	e	e	e	d	d
<table border="1"> <tr> <td>目標とする平均点</td> <td>75点</td> </tr> <tr> <td>再試験の回数</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>授業形態</td> <td>対面授業科目</td> </tr> </table>																									目標とする平均点	75点	再試験の回数	1回	授業形態	対面授業科目												
目標とする平均点	75点																																									
再試験の回数	1回																																									
授業形態	対面授業科目																																									

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を修了し、ステューデントクワーターとして模範的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

凡例	科目名	単位数	学修成果と評価方法
	医療統計学3	0.5	カリキュラム・マップ
			アセスメント・マップ
			① 評価形式ごとの評価割合 (%)
			② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含まれている項目)
評価形式	1 定期試験：筆記試験（記述式）		
	2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）		
	3 小テスト：筆記試験（記述式）		
	4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）	20	a
	5 口頭試験		a
	6 レポート	50	a
	7 成果発表	30	a
	8 質問紙法		
	9 直接観察法（模写または実際の患者）		
	10 OSCE		
	11 監査（オーディット）		
	12 ポートフォリオ		
	13 自己評価		
	14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載		
	合計（100%）	100	
	目標とする平均点		75点
	再試験の回数		0回
	授業形態		対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー																																										
I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力				V. コミュニケーション				VI. 科学的探求			VII. 地域医療			VIII. 国際貢献												
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5				
医療倫理及び生命倫理の原則を説明し、具体的な状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関する倫理的な問題を多角的に認識したうえで適切に行動できる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人倫の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着けていく。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することが出来る。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身振りを振る舞うことができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協働性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	科学的思考に基づいた探究心を身につけていく。	医学研究を進捗させる基礎的素養を有している。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	フライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解するための重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力への役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	国際社会における医学的な課題を説明できる。		
D	D	D	D	D	D	C	C	D	E	C	E	E	E	E	C	D	D	C	B	B	C	C	E	E	E	E	B	B	B	B	B	C	D	E	E	E	D	C	D	D	C	C



札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スケジュールドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

凡例	科目名	単位数	学修成果と評価方法
----	-----	-----	-----------

総合講義2	1	カリキュラム・マップ	D D D D D D D A A A A D A A A A A A A A D D D D D D D D D D D D D D
		アセスメント・マップ	
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)	
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)	
		評価形式	
		1 定期試験：筆記試験（記述式）	
		2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	50
		3 小テスト：筆記試験（記述式）	
		4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）	
		5 口頭試験	
		6 レポート	
		7 成果発表	
		8 質問紙法	
		9 直接観察法（横型または実際の患者）	
		10 OSCE	50
		11 監査（オーディット）	
		12 ポートフォリオ	
		13 自己評価	
		その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	
		合計（100%）	100
		目標とする平均点	75点
		再試験の回数	1回
		授業形態	対面授業科目

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識				III. 医療の実践				IV. 問題対応能力				V. コミュニケーション				VI. 科学的探求				VII. 地域医療				VIII. 国際貢献																																															
1	医療倫理及び生命倫理の原則を説明し、具体的な状況に適用できる。	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	1	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	1	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	1	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	1	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	1	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	1	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解するための重要性を説明できる。	1	医療倫理及び生命倫理の原則を説明し、具体的な状況に適用できる。	2	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	2	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	2	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることがができる。	2	科学的知見を獲得するための科学的な理論や方法を研究倫理について説明できる。	2	社会経済における地域医療の位置づけについて説明できる。	2	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	2	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	3	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した上で判断し行動できる。	3	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の診断に活用できる。	3	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を提示することができる。	3	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	3	5個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	3	医療・保健に関わる国際協力への役割を説明できる。	3	医療・保健に関わる国際協力への役割を説明できる。	4	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	4	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	4	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	4	指導力及び協働性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	4	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	4	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解するための重要性を説明できる。	4	医療・保健に関わる国際協力への役割を説明できる。	5	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	5	災害時の医療について説明できる。	5	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	5	地域医療の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	5	国際社会における医学的課題を説明できる。	5	国際社会における医学的課題を説明できる。	5	国際社会における医学的課題を説明できる。